

STORIES FROM THE CAPITAL

31
ISSUE



2023 春季号

TAI^台PEI^北

住みやすく、暮らしやすい都市

特集記事

暮らしを支える4つの要素

台北で送る快適な生活

TAIPEI

PICK UP POINTS 本誌は以下の場所で無料で配布しています。

台北市政府観光傳播局 /
台北市觀光傳播局
Department of Information and
Tourism, Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 7564
〒台北市市府路 1 号 4 階

台湾桃園國際空港第一ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 1
☎ (03)398-2194
〒桃園市大園区航站南路 15 号

台湾桃園國際空港第二ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 2
☎ (03)398-3341
〒桃園市大園区航站南路 9 号

松山車站 / 松山駅
Songshan Station
☎ (02)2767-3819
〒台北市松山路 11 号

南港車站 / 南港駅
Nangang Station
☎ (02)2783-8645
〒台北市南港路 1 段 313 号

美國在台協會 / アメリカ在台湾協会
American Institute in Taiwan
☎ (02)2162-2000
〒台北市金湖路 100 号

遠企購物中心 /
遠企ショッピングセンター
Taipei Metro the Mall
☎ (02)2378-6666 内線 6666
〒台北市敦化南路 2 段 203 号

國語日報語文中心 /
國語日報語学センター
Mandarin Daily News
(Language Center)
☎ (02)2341-8821
〒台北市福州街 2 号 2 階

台北松山機場 / 台北松山空港
Taipei Songshan Airport
☎ (02)8770-3430
〒台北市敦化北路 340-9 号

瓶蓋工廠台北製造所 /
瓶蓋工場台北製造所
POPOP TAIPEI
☎ (02)2785-9900
〒台北市南港路 2 段 13 号

台北美國學校 / 台北アメリカンスクール
Taipei American School
☎ (02)2873-9900
〒台北市中山北路 6 段 800 号

國立國父紀念館 / 国立国父紀念館
National Dr. Sun Yat-sen
Memorial Hall
☎ (02)2758-8008
〒台北市仁愛路 4 段 505 号

國立中正紀念堂 / 国立中正紀念堂
National Chiang Kai-shek
Memorial Hall
☎ (02)2343-1100
〒台北市中山南路 21 号

台北當代藝術館 / 台北当代芸術館
Museum of Contemporary Art
(MoCA), Taipei
☎ (02)2552-3721
〒台北市長安西路 39 号

市長官邸藝文沙龍 /
市長官邸アートサロン
Mayor's Residence Arts Salon
☎ (02)2396-8198
〒台北市徐州路 46 号

台北國際藝術村 / 台北国際芸術村
Taipei Artist Village
☎ (02)3393-7377
〒台北市北平東路 7 号

台北二二八紀念館 / 台北二二八紀念館
Taipei 228 Memorial Museum
☎ (02)2389-7228
〒台北市凱達格蘭大道 3 号

交通部觀光局旅遊服務中心 /
交通部觀光局トラベルサービスセンター
Travel Service Center, Tourism Bureau,
M.O.T.C
☎ (02)2717-3737
〒台北市敦化北路 240 号

台北之家 / 台北之家
Taipei Film House
☎ (02)2511-7786
〒台北市中山北路 2 段 18 号

台北市政府市民服務組 /
台北市役所市民サービスカウンター
The public service group of
Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 1011
〒台北市市府路 1 号

士林官邸 / 士林官邸
Chiang Kai-shek
Shilin Residence
☎ (02)2883-6340
〒台北市福林路 60 号

台北市孔廟 / 台北市孔廟
Taipei Confucius Temple
☎ (02)2592-3934
〒台北市大龍街 275 号

台北記憶倉庫 / 台北記憶倉庫
Taipei Info Hub
☎ (02)2371-4597
〒台北市忠孝西路 1 段 265 号

松山文創園區 /
松山文化クリエイティブパーク
Songshan Cultural and
Creative Park
☎ (02)2765-1388
〒台北市光復南路 133 号

華山 1914 文化創意產業園區 /
華山 1914 文化クリエイティブパーク
Huashan 1914 Creative Park
☎ (02)2358-1914
〒台北市八德路 1 段 1 号

國立台湾博物館 / 国立台湾博物館
National Taiwan Museum
☎ (02)2382-2566
〒台北市襄陽路 2 号

台北市立圖書館 / 台北市立図書館
Taipei Public Library (Main & branches)

台北市旅遊服務中心 /
台北市観光案内所
Visitor Information Centers in Taipei

MRT 各駅
All Stations of MRT Lines

伊是咖啡 / IS コーヒー
Is Coffee

誠品書店 / 誠品書店
eslite Bookstore

金石堂書店 / 金石堂書店
Kingstone Bookstore

EDITOR'S
INTRODUCTION
編集者の言葉

住みやすく、 暮らしやすい 都市



どの都市にも独自の魅力があるように、台北はグルメ、住みやすさ、安全性や利便性の高さで知られています。この十年間、台北は国際メディアが選ぶ世界で最も住みやすい都市に何度も名前を挙げられており、海外からの移住者も増えています。

そこで、今回は「快適さ」をテーマに、パブリックアートや交通、美食、医療制度という四つの視点から台北の魅力を検証しました。

また、新旧の建築様式が入り混じった台北の独特な風景にも注目し、近代に建てられた驚くべき建築物の数々を紹介しています。

加えて、台北には長い歴史を持つ建築物も少なくありません。その代表とも言える大龍峒にある保安宮では、董事長の廖武治氏に案内をしてもらいながら、当宮の歴史やユニークな装飾、そして2023年の保生文化祭についてお話をいただきました。

街の知性は住民の読書習慣に現れるということで、ベテラン編集者の李恵貞氏が推進する読書プロジェクトも取材しています。

現在、海外からの労働者が増えている台北では、政府によるカウンセリングやケアサービスのほかに、NGO団体「One-Forty」が興味深いサービスを展開しています。こちらも詳細をまとめたので要注目です。

グルメに関しては、台湾の伝統とも言える餃子と焼き菓자에スポットを当てています。

最後に、長年ラジオ業界に携わるティム・ベルジ氏を取材し、彼が台湾国籍を取得してまで台北に住み続ける理由、そして台北の魅力について伺いました。

今季の『TAIPEI』の内容を通して、台北の快適さが伝われば幸いです。



アンケートに答えて
抽選キャンペーンに参加しよう！

住みやすく、暮らしやすい都市

COVER STORY

04 暮らしを支える4つの要素 台北で送る快適な生活

CITY SCENE

12 台北のクールでモダンな建物を探索

20 お菓子からお土産まで 迪化街にある専門店4選

CULTURE & LIFESTYLE

28 台北の歴史的遺産 大龍峒保安宮と保生文化祭

34 読書のすゝめ

A CITY FOR CHANGE

40 インクルーシブ教育がもたらすウィンウィンの関係
出稼ぎ労働者を人的資本へ

FOOD & DRINKS

48 台北餃子ガイド

54 台北にある伝統的な菓子店

A DAY IN THE LIFE

58 ラジオパーソナリティが見た台北



写真 / 台北表演艺术中心

TAIPEI 郵政劃撥（郵便振替）での定期購読について / 6期

振替口座番号 / 16630048

振替口座名義 / 台北市観光伝播局

台湾国内	NT\$180 元	（普通郵便で発送）
香港・マカオ	NT\$540 元	（航空便で発送）
アジア太平洋地域	NT\$660 元	（航空便で発送）
ヨーロッパ / アメリカ / アフリカ地域	NT\$900 元	（航空便で発送）

台北市観光伝播局

書面による許可なく本誌の全部または一部を複製・複写することはできません。



オンライン雑誌：www.travel.taipei/ja
> マルチメディア > TAIPEI



本誌は大豆インクを採用
しています。

TAI PEI 台 北



発行者 / 陳淑慧 編集長 / 鄒佳穎 副編集長 / 陳其睿 編集 / 林婉婷 マーケティング / 李宗岳、陳俐雯
翻訳 / 下山敬之、許育華、鄭智妮、朱寛元 カバーデザイン Broo 品牌醸造室

台北市観光伝播局 住所 / 台北市市府路1号4階 Tel / 1999 (台北市外からは 02-2720-8889) 内線 7564 または 7566 Fax / (02)2720-5909

Email / taipei_quarterly@mail.taipei.gov.tw ISSN / 24137774 GPN / 2010402343

本誌に対するご意見、ご要望などがございましたら、是非、E-mail またはファックスにてお寄せください。

デザイン Taiwan Scene 讓世界愛上台湾股份有限公司 Tel / (02)2562-5005 Fax / (02)2562-5505

中華郵政台北雜字 第 1377 號執照登記為雜誌交寄 / 本号定価 NT\$30 元



01. 台北市内にはたくさんの公園があり、市民があそこにまったりと時間を送ります。

01

暮らしを支える 4つの要素 台北で送る快適な生活

文：Tina Teng、Genie Zheng 編集：下山敬之

写真：Yuskay Huang、April Chen、Taiwan Scene、台北榮民総医院、帝門芸術教育基金会

台北は、英国の雑誌『Monocle』で行われた2022年の住みやすい都市ランキングで第10位に選出されました。他にもBBCなど世界的なメディアでも世界で最も快適な都市に選ばれています。そんな台北の魅力は果たしてどこにあるのでしょうか？

今回、台北在住の異なるジャンルの専門家4名をお招きし、芸術・文化、交通、グルメ、医療制度の観点から台北の魅力をご紹介します。

台北市立美術館の館長を務める王俊傑（ワン・ジュンジェ）氏は、これまでの伝統の枠組みに囚われない台北の先進的なパブリックアートに関して、台北市政府交通局の総合企画課の課長を務める張鈞凱（ジャン・ジュンカイ）氏は、台北の交通ネットワークの利便性が旅行者や地元住民に与える影響を紹介しました。また、ライフスタイルジャーナリストの許育華（シュー・ユーファー）氏は、台北が世界的な「食の都」であると分析するその理由を話して下さって、中医学の開業医である羅珮琳（ルオ・ペイリン）氏は、海外から患者が訪れるほど高い台北の医療制度について教えて下さいました。

芸術

パブリックインスタレーション の流行発信基地

台北では、従来の大型パブリックアートからの脱却を図り、時代の先端を走るパブリックアートへの挑戦を行っています。王氏によれば、台北市政府が主体となり各種イベントやワークショップを開催しているほか、ドキュメンタリー映画を通じて地域住民の生活を記録することで、パブリックアートを日常へ浸透させる試みを行っているそうです。また、革新的なアプローチとして、アーティストを特定の地域に住ませ、地域住民とともにパブリックアートを制作するアーティスト・イン・レジデンスも実施。地域の暮らしとアートを融合させた素晴らしい事例を生み出しています。

この他にも王氏は、2019年に台北市社会局が開催した「植変：身態園丁の大療癒術」という活動も好例として挙げています。このイベントではアーティスト、ソーシャルワ-

ーカー、クライアント、ボランティア、各コミュニティが様々なパブリック・アートに参加することで、それぞれがオープンに対話できる場を創出。参加者は花を植えることで作品制作に携わる達成感を味わえますし、地域コミュニティにも美しい景観が生まれ、街全体に活力を与えることができます。

台北都市發展局が実施した非物理的パブリックアート「芸居：家的進行式」も注目すべき活動です。このプロジェクトは、都市にパブリックアートを作り出す計画の第一弾で、アートを通じて生活空間の中に新たな想像力を生み出そうという企画。舞台芸術、アーティスト・イン・レジデンス、常設インスタレーションという3つのアート形態を統合し、さらにドキュメンタリー映画や壁画を用いて、歴史的、文化的記憶の継承、社会正義、環境のサステイナビリティといった問題を



02

02. 興隆公営住宅にある「移動博物館」というインスタレーションは涂維政氏の作品です。(写真/帝門芸術教育基金会)



取り上げています。このプロジェクトは現在、松山健康社宅、萬華青年社宅、文山興隆社宅、南港東明社宅などの公営住宅で実施されています。

台北のパブリックアートの大きな特徴は、大型の物理的な作品だけではなく、演劇やメディア作品、地域住民が制作に参加できる企画が豊富にあることも大きな特徴なのです。

03

03. 台電大楼の入口の上にあるエコをモチーフにしたパブリックアート「日光域」。(写真/Yuskay Huang)



王俊傑

台北市立美術館の館長を務めるほか、現代芸術のコミュニティでも活動を行い、さまざまな組織のリーダーとしての経験を持つ。また、台北市立美術館と国立台湾美術館で諮問委員会と収蔵委員会も兼任している。

交通

グリーン化する都市

台北には現在、5本のメトロ路線と280本を超えるバス路線があります。加えて、シェアバイクの「YouBike 2.0」が13000台配備されるなど交通手段が充実しています。これらを組み合わせることで、より便利かつ効率的に市内の移動が行えるのです。

張氏によれば、YouBikeの回転率は世界一を誇ります。回転率とは1台の自転車が1日に何回利用されたかを示すもので、台北ではYouBikeが1日平均10回ほど利用されています。また、カーボンニュートラルを目指し、路線バスのEV化を促進。2030年までに電動バスの利用率100%を目指すという張氏は話します。

台北交通局では公共交通機関の利用促進を優先しており、利便性の向上を図るために定期券の販売を始めました。価格は毎月NT\$1280で、MRT、バス(運賃が一定のものに限る)、淡海ライトレールが無制限で乗車可能。YouBikeも最初の30分間は無料で利用できます。

また、交通局では2015年に「台北市鄰里交通環境改善計画」を立案しました。このプロジェクトは、路上にある駐車エリアの改修や狭い道路の歩道部分を緑色に塗り安全性を高めるなど、人々の生活環境をより快適にする施策です。

市政府では、歩行者に優しい交通環境の整備とサステイナブルな交通システムを確立し、安全かつ快適な交通ネットワークを構築す

04. 台北市は MRT やバス、シェアサービスなど利便性の高い交通ネットワークが敷かれています。(写真 / Yuskay Huang)

05. 近年、台北市政府は路地における歩行者の安全性向上を目的とした計画をしています。

04



05



張鈞凱

台北市政府交通局総合企画課課長。交通政策の調査・立案、交通システムの総合企画、行政業務計画の監査・管理、交通データの収集、分析を担当。

ることを目標としています。これによって、住民の生活が改善するだけでなく、観光客にも便利な移動手段の提供と発展していく台北の利便性を体験してもらうことができます。



06

06. 柔らかい挽き肉が入り、皮が薄くてジューシーな小籠包は、台湾を代表する料理だけでなく、外国人旅行者にも愛されています。(写真 / April Chen)

グルメ 特大美食ホール

その都市の「美食」は、その地の食文化の豊かさが大きく影響を与えます。台北では台湾料理だけでなく、客家料理や中華料理、日本料理など文化的な繋がりのある料理が根付いています。さらに、台北の国際料理の水準は高く、フランスやイタリア、東南アジア、インド、トルコなど各国の料理が食べられます。台北は多彩な味覚が集まる場所なのです。

同時に食品を扱う様々な市場も台北の食を豊かにしている要因の1つです。例えば、南門や土東といった伝統的なマーケットや近代的なスーパー、食品を扱うセレクトショップなどがあ

り、いずれもグルメには欠かせない食品を提供しています。また、子連れやペット連れができるレストランがたくさんあり、どのような食べ物でも満足させることができ、台北は巨大なフードコートだと言っても過言ではありません。

多くの国や都市を旅してきたジャーナリストの許氏は、食について独自の見解を持っていきます。そんな彼女は、台北の人々の日常生活を見ると、食に対する重要性や熱意の高さが見て取れると言います。「美食」は会話の話題としてだけでなく、インターネット上やテレビ番組でも取り上げられるほど日常的なテーマだからです。

台北は早朝でも深夜でも、時間を問わずいつでも美味しいものに会える街です。価格帯も様々で、NT\$100の庶民的な味からNT\$1000を超える高級な味も体験できます。

長年、ドイツのベルリンに滞在してきた許氏は仕事柄、さまざまな国の人たちに会おうそうです。そんな中で、外国の友人が初めて台北を訪れる際にオススメするのが、鼎泰豊の小籠包。種類が多く、水準も高いことから、あらゆる文化の人々が楽しめるのだと

か。また、牛肉麵も彼女のおすすめの1つ。「麵」は国際言語であり、台湾の牛肉麵は牛肉とスープのバランスがよく、外国人からの評価も高いと言います。許氏によれば、台北の日常生活や食文化を理解するのであれば、夜市や街角にある屋台料理を食べること

が一番だそうです。特に中山区にある梁記嘉義鶏肉飯、大稻埕にある意麵王、中正区にある康樂意小吃店の中華まん、焼き中華まん、大根もちなどがおすすめです。この他にも紹介しきれないほど、台北には美食が溢れています。友人へお土産を渡す機会

が多い彼女にとって、最も無難な選択肢はパイナップルケーキだそうです。台湾の食文化を知ってもらう際には、国産フルーツを使用したドライフルーツを、イタリアやフランスの友人には、「ベジタリアンチーズ」と呼ばれる腐乳をプレゼントするそうです。

07-08. 麵類などの屋台料理は、観光客でも気軽に楽しめる台湾の味です。



07



08



許育華

『Marie Claire』などの雑誌で活躍するライフスタイルジャーナリスト。デザインやライフスタイル、旅行、文化を専門とするライターでもあり、『Wallpaper* City Guide Taipei』で執筆をしている。

健康

高い評価を受ける医療制度

台湾の医療制度は世界的に高い評価を受けていて、医療資源の大半が台北に集中しています。等級に応じて分けられた国民医療保険制度はにより、一般的な疾病は各科で診察を受け、必要に応じて規模の大きい病院を紹介します。それによって、安価な費用で治療が受けられるのです。また、台湾の国保は自国民だけでなく、外国人移住者も同様の恩恵が受けられます。そのため、外国人移住者はもちろん、海外に住んでいる人も治療のために台北を訪れます。

台北で何年も医療に携わっている羅氏によれば、ドイツ人の患者さんは台湾を訪問するたびに診察に訪れるそうです。ドイツでは中医学の診察を受けるのに時間がかかる上に、全て自費で払わなければならないので費用が高額です。

人体の経路やツボ、薬草に精通している中医学は、外国人にとって西洋医学とは異なる魅力を持っています。例えば、手の痛みを訴えて受診した患者に対し、中医学の医師は患部だけを見るのではなく、睡眠習慣や気分を尋ねます。これは中医学の「望聞問切」という考え方によるものです。加えて、中医学の治療法は種類が多く、薬の処方や鍼、灸、湿布など様々な選択肢があります。

台北の医師は中医学と西洋医学の両方を学んでいる人や、留学経験のある人が多いです。外国語でのコミュニケーションが取れるので、中国語が話せない旅行



09. 外国人の観光客は中医学の概念や、その保健と治療の効果にとっても興味を持つようです。



10. 台北にある大病院の多くは交通の便が良い所にあります。(写真/台北榮民総医院)

10



羅珮琳

婦人科、皮膚科、一般内科を専門とする聿悦中醫診所の院長を務める。メディア番組のコンサルタントや健康生活メディアでの執筆、中医学に関する著書の執筆などを行っている。

者や外国人移住者でも診察が受けられます。また、一部の診療所では通訳サービスを行っている場所もあります。



01

01. 近年、台北にはユニークでモダンな建築様式が数多く見られますが、士林にある台北表演芸術中心は、その中でも特に異彩を放つ建築物です。(写真 /Chris Stowers)

台北のクールでモダンな建物を探索

文：Jenna Lynn Cody 編集：下山敬之

写真：Yuskay Huang、法鼓山文教基金会、台北表演芸術中心、台北流行音楽中心、Chris Stowers、Shao Bo Zhao

台北の歴史的建造物が紹介される際、煌びやかな寺院や日本統治時代の建物ばかりが注目されがちです。しかし、市内にはモダンな建造物が多くあり、それらもまた台北の美しい景観を作り出すピースの1つとなっています。

例えば、20世紀中頃に建てられた農禅寺はミニマルで美しい外観をしていますし、国立台湾師範大学の美術館は、台北市街地にある建物の新旧対比構造を表しています。台北表演芸術中心はアーティストとパブリックそれぞれにとって劇場とは何かを問う構造に、台北流行音楽中心は台北の地形と宇宙船のような近未来的な構造で、創造的な都会の生活リズムを描いています。

これらの建造物は古いもので20世紀中期、最近のものだこの2年以内と建設時期はバラバラです。にも関わらず、いずれもバランスとアシンメトリーを考慮した作りとなっています。機能性に配慮したデザインでありながらも、人々の感情に訴えかけ、アートを創造し、さらに人々を包み込んで都市の景観にもしっかりと溶け込んでいるのです。こうした建造物は、伝統的なデザインを超越し、台北の現代を見据えるきっかけを与えてくれます。



農禅寺

MRT奇岩駅

MRT奇岩駅から徒歩10分ほどのところにある閑静な通りに、陽明山が一望できる農禅寺があります。人通りの少ない路地が目印であり、最後まで進むと姚仁喜氏によって設計されたミニマルでモダンな農禅寺が姿を表します。姚氏は国立故宫博物院南部院区や国立台湾史前文化博物館の南科考古館などを設計した著名な建築家です。

農禅寺は1975年に仏僧であり、学生でもあった東初老師によって簡素な農舎として建てられました。その後、東初老師を継いだ聖嚴老師によって現在の姿へと拡張されました。境内は美しい池（水月道場）と山々に囲まれたレイアウトが、心地よい静寂感を生み出しています。また、白とグレーを基調とした建物は、訪問者に安心感を与え、スッキリとしたラインと考え抜かれたアシン



02

メトリのバランスが、この寺院のユニークさを補完しています。

大殿（本殿）の片側には小さな水晶の仏像が点になっているほか、吹き抜けになっている2階の壁には般若心経が刻まれており、差し込む日光が神聖な文字を照らしています。

仏像が点在する庭園は

散歩に最適です。回廊は一定の間隔で壁が無くなくっており、有と無、明と暗のコントラストが強調されています。水月道場、庭園、回廊いずれも静かに熟考できる空間となっており、高速道路の近くというロケーションにも関わらず、別世界のような印象を与えます。



02. 壁に刻まれた般若心経が日差して床に反射する光景は、美しくも神々しい印象を与えます。
(写真 / 法鼓山文教基金会)

03. 農禅寺の水月道場は風情があり、禅の心が感じられます。
(写真 / 法鼓山文教基金会)

03



国立台湾師範大学美術館

MRT古亭駅

国立台湾師範大学のキャンパスは、その建築様式によって広く知られています。もともとのキャンパスは和平東路の南側にあり、日本統治時代に建設されました。そのため、20世紀初期の日本式バロック建築の要素が含まれているのが特徴です。道路を挟んで向かいにある新キャンパスは対称的に現代建築の要素が見られます。

師範大学の美術館は賑やかな和平東路から離れた場所にあり、キャンパスの入り口から入るか、大学の敷地に隣接する緑豊かな路地からアクセスできます。最もアクセスしやすいのは、麗水街33巷を経由するルートです。並木やベンチ、カフェが点在する通りは、キャンパス独特の静けさがあり、やすらぎが感じられます。美術館はピラミッドのように尖った金属が集まったような形をしており、

近未来的な宇宙船や折り紙で折った蜂の巣のようにも見えます。その特徴的な外観は周囲にある日本統治時代の建物とは対照的です。見方によってはモダンアートが伝統的な美しさを破壊するように、美術館の近未来的な構造は破壊の象徴と誤解されるかもしれません。しかし、その新しい建物によって、周囲にある歴史的な建物にも注目が集まっています。

この建物の特徴として、全体を見渡せる角度が存在しないことが挙げられます。むしろ、周辺を歩くことで違った角度や視点が見えてくるのです。美術館の設計を担当した陳聖中（チエン・シヨンジョン）氏は、「建築は詩のように、都市は本のように。本が詩でいっぱいなら、街は文化を持つだろう」と言っています。この美術館は、詩のように見る角度や時間帯によ

って変化し、予期しなかった驚くべき観点を無数に与えてくれるのです。

国立台湾師範大学の美術館では1947年以来、学生や教職員の作品の中心とした台湾のモダンアートを展示してきました。ジャンルは油絵、水墨画、書道、版画、応用美術などで、3000点以上の作品を収蔵しています。

台湾のアーティストにおけるニッチな分野をカバーするだけでなく、一般市民にも台湾の現代美術の歴史と変遷を学び、自ら参加できる場所を与えています。同美術館の公式Facebookでは、定期的な講座やシンポジウム開催の告知を行っているのですが、気になった方はぜひ参加してみてください。

04. 師範大学の美術館は、192.8枚の子タン製の板を使用しており、台湾初となる360度全方位から三角形が見える建物です。(写真/Yuskay Huang)



04



台北表演艺术中心

MRT劍潭駅

MRTのレッドラインは一部地上を走っていて、台北の景観が楽しめます。伝統的な中華建築の圓山大飯店を通り過ぎると、現代的な台北表演艺术中心が見えてきます。同センターを設計したのは、シアトル中央図書館やデ・ロツテルダムなどの設計で知られる世界的に有名なオランダ人建築家レム・コールハース氏とデヴィッド・ジャノツェン氏。

2021年に完成した台北表演艺术中心は、台北のモダン建築の中で最も新しい作品です。同センターは、包括性と芸術施設の「保守的な内部構造」の打破をコンセプトに設計され、CNNの「2021年に世界を形作る変幻自在の建物」でも取り上げられました。

この建物は古い建物が立ち並ぶ士林夜市付近のエリアにおいて一際目立っていて、特に南側から近づくとき強い視覚的イン

パクトが感じられます。それは、地元では「貢丸（つみれ）」の愛称で呼ばれる大きな球体があるから。本館から球体が飛び出るような構造となっていて、広い屋外公共広場の上にはぶら下がっているように見えます。2階には、MRTや近隣を見渡せる波型の窓や小さな読書スペース、7階には士林エリアの広大な景色を眺めながら高級な洋食やスタンダードなコーヒー、ドリンクが楽しめる人気のカフェバー&レストラン「ACME」があります。

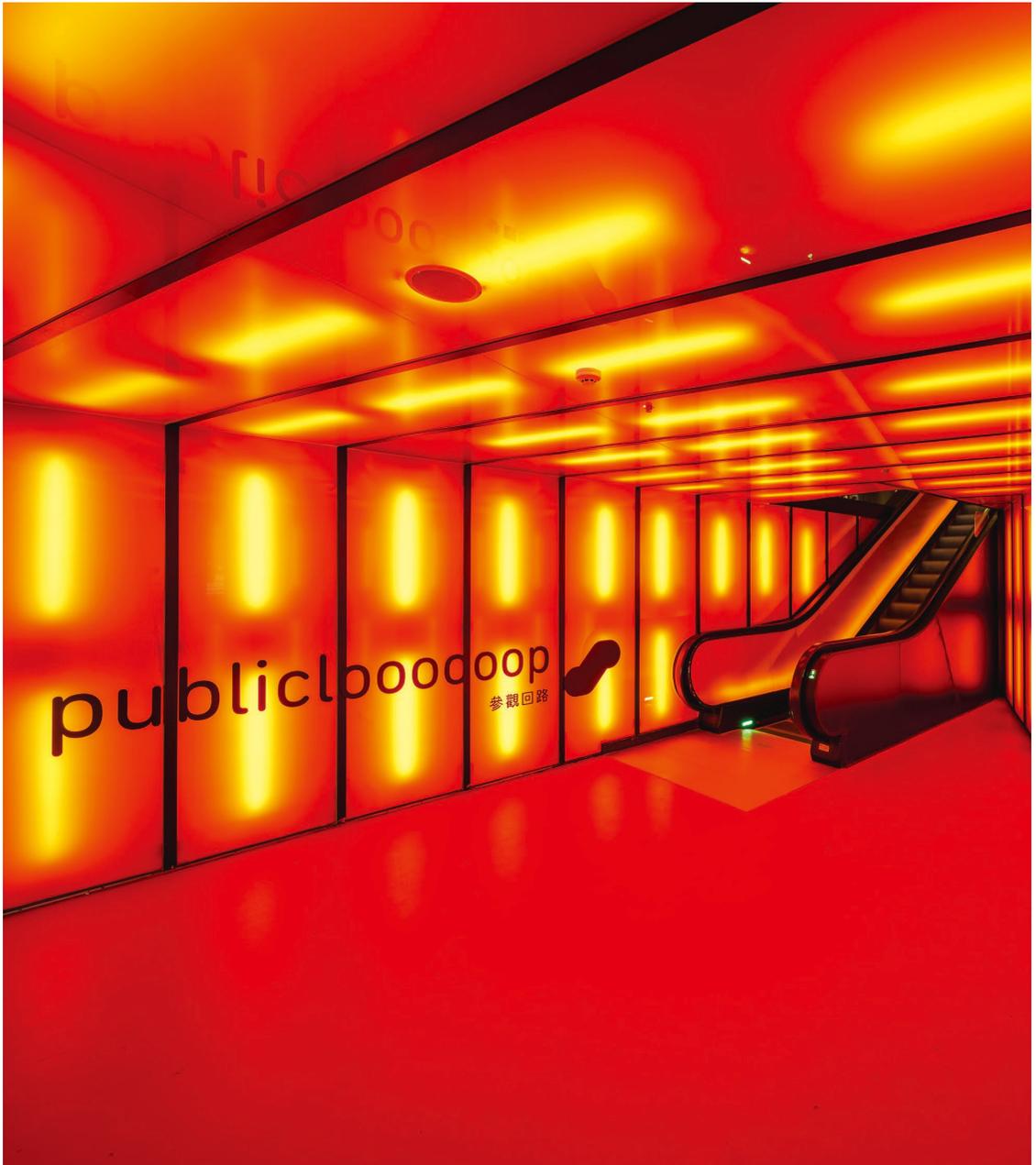
05. 台北表演艺术中心の球体は、士林の新しいランドマークとなりました。(写真/Shao Bo Zhao)

05

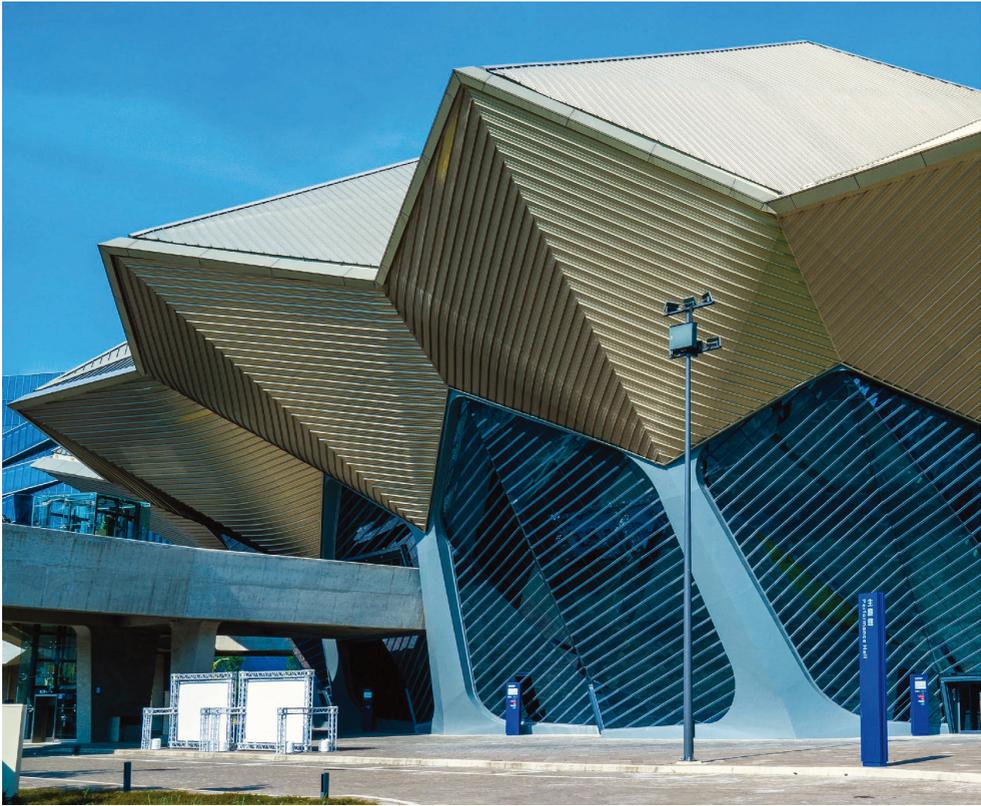


台北表演艺术中心は、3つの独立した劇場が全て共通のバックステージに繋がっているというユニークな施設です。地球儀のような形をしているのが「球劇場」で、最も知名度が高いです。長方形の「大劇院」も球劇場と同様に外に突き出した構造となっていて、中央にはブルーボックスと呼ばれる小さい劇場があります。バックステージが見える「パブリックループ」からは、普段は見えない舞台芸術の一面が垣間見えます。

06. エスカレーターのある空間は、最先端のテクノロジーを連想させます。(写真/台北表演艺术中心)



06



07



台北流行音楽中心

MRT南港駅

台北のモダン建築と聞いて、南港を最初に思い浮かべる人はまずいません。南港と言えば、展示会で有名な台北南港展覽館やオフィスビルが林立する場所として知られていて、台北表演芸術中心はおろか、新たな開発プロジェクトが行われる可能性も低い場所でした。しかし、台北市政府が士林の台北表演芸術中心と南港の台北流行音楽中心を含む新プロジェクトのデザインコンテストを開催したことで状況は一変。

南港の複合施設は、高雄港旅客運中心や南投県の阿里山の観光遊歩道などで知られるニューヨーク在住の建築家ジェシー・ライザー氏と梅本奈々子氏が設計を担当しました。完成した施設は、一見すると大通りをまたぐ宇宙ステーションのように、広大な敷地の中にある複数のビルや広場を歩道橋が繋いでいます。建築家自身が、「流れるような結晶構造の幾何学」からイ

ンスピレーションを得たと表現しているように、陽光に輝く昼もライトアップされる夜も、ひと目で分かる外見となっています。

建物の外観は自然造形の模倣ではなく、人工物を取り入れることを意図しているのですが、表演庁（コンサートホール）はホタテの貝殻のような形状、産業区は長方形の水晶、文化館は四角い黄鉄鉱を連想させます。台北流行音楽中心の外観は、全体的に自然でありながら人工的であり、独特でありながら普遍的なのです。それは国際的に認知

07. 目を引くコンサートホールは、多面体でデザインされ、5,000人の聴衆が収容できます。

されながらも地元根ざしている音楽に通ずるものがあります。

台北流行音楽中心は、5000人を収容するコンサートホールや台湾の音楽の歴史を紹介する文化館、若手音楽家を育成する産業区などを擁する多目的施設です。同施設は、台北の生活に溶け込むようなデザインとなっており、DJ専門店やレコード店、楽器店など音楽に関するショップだけではなく、カフェやアート系のショップも充実しています。台北流行音楽中心は、地元の音楽シーンを盛り上げるだけでなく、台湾音楽の特色を世界に発信する場所でもあるのです。◆

08



08. 台湾音楽業界の優れた人材を支援するため、造形が水晶のようなクリエイティブハブは台北流行音楽中心が提供する多機能なスペースの一つです。

09. 四角形のカルチャーキューブは、台湾で初めて音楽をテーマとした展覧の空間で、台湾音楽業界の歴史的なシーンを展覧しています。

10. コンサートホールのロビーは白を基調とした洗練されたデザインとなっています。



09

10



19

TAIPEI



01

お菓子からお土産まで 迪化街にある専門店 4 選

文：Seb Morgan 編集：下山敬之 写真：Yuskay Huang、Taiwan Scene

大稻埕エリアにある迪化街は、赤レンガ造りのノスタルジックな通りとして知られています。台北の旧市街を南北に走るこの通り沿いには、伝統的な食料品や日用品を扱うお店が多くあるので、観光地として非常に人気です。もともとは米やお茶など、台湾の伝統的な食料品を扱う商業エリアとして発展した通りであり、今でも日本統治時代に創業した個人商店が数多く残っています。

迪化街では、お土産選びや伝統的な料理の食べ歩きができるだけでなく、独立系カフェでゆっくり過ごしたり、博物館を見学したり、永楽市場で色鮮やかな布地を探したりと様々なアクティビティが楽しめます。いずれも迪化街の歴史ある雰囲気が満喫できるので、買い物を目的としていない方にもおすすめです。

ここでは、ユニークな商品を販売していたり、歴史や文化に触れられる魅力的なお店を紹介していくので、迪化街を訪れる際の参考にしてみてください。

郭怡美書店

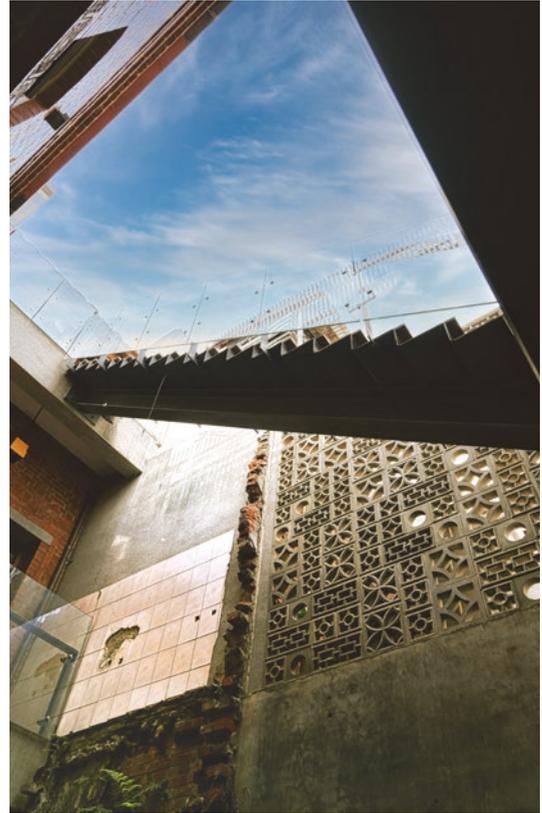
民生西路の交差点の北にある郭怡美書店は、迪化街の魅力を凝縮したようなお店です。店舗は日本統治時代に建てられたテラスにあり、100年以上にわたって地域の象徴的なお店として残り続けてきました。付近をブラブラと散歩するだけでも十分に価値のある場所です。

迪化街にある多くのお店がそうであるように、郭怡美書店も家族経営のお店です。もともとは1922年に郭烏隆（グオ・ウーロン）氏が雑貨屋として創業し、孫の郭重興（グオ・チョンシン）氏によって本屋へと転身しました。現在、この書店は大稲埕でもっとも規模の大きい独立系書店となっています。

店の内装は伝統とモダンが融合した作りとなっていて、その美しさは迪化街の中でトップクラス。特に洗練された格子窓と木造の梁が生み出すコントラスト、2階と3階をつなぐ木材と金属でできた階段は、迪化街の中でも異彩を放っていると言えるでしょう。



04



02

01. 大稲埕は古い台北の様子が見え、その中にもたくさんおもしろい商品が売られています。(写真 / Taiwan Scene)

02. 階段は建築内部の複雑なディテールの一つで、郭怡美書店を訪れる際のさらなる魅力です。

03. リノベーション前のフローリングをそのまま保存し、店内の装飾として活用されています。

04. 郭怡美書店は静かに本を読む空間を提供しています。



03



05



06

05. 2階のアートギャラリーでは読書だけでなく軽食も楽しめます。

06. 店内の装飾は古き良きの雰囲気がいっぱい、これを見るときに力を入れているのが分かります。

読書を目的とする場合は、下層階を探検してみるのがおすすめ。お店の1階部分は、旅行や文化などノンフィクションのジャンルが中心で、2階には台湾の作家の作品や翻訳された海外の小説が並んでいます。中国語の書籍がほとんどですが、英訳されたものや写真集などもあります。3階はアートや写真に関する書籍が置かれているだけでなく、台湾の伝統的な家屋をイメージした装飾が施されている点も特徴です。3階はショールームとしての機能もあることから、展示が行われるこ

ともあります。

郭怡美書店は建築様式のみならず、本が好きで、店内にある独特な雰囲気のカフェや迪化街に興味がある人など、様々な人が楽しめる空間となっています。

郭怡美書店

住所 大同区迪化街一段129号
営業時間 14:00～22:00（月曜日～金曜日）
 11:00～22:00（土曜日～日曜日）

大春煉皂

100年を超える老舗の大春煉皂は、もともと日本の会社でしたが1950年からは台湾の一家が引き継ぎ、世代交代をしながら経営を続けています。主にオリジナルの石鹸やボディーソープ、シャンプーなどを作っていて、その材料は台湾の植物やハーブのほか、迪化街が貿易の拠点として全盛期だった時代を彷彿とさせる米や茶葉、漢方などが中心です。

現在1番人気の商品はお米を使用した石鹸の「經典米萃皂」。黄金色に実った稲穂から抽出した米胚芽オイルを使用しており、豊富なビタミンEによって高い保湿効果と洗浄効果が期待できます。また、お茶を仕様した爽やかな香りが特徴の石鹸「經典茶萃皂」も人気商品の1つ。細かく砕いたウーロン茶の粉末が肌に弾力と柔軟性をもたらし、爽やかなハーブの香りが心と体を癒してくれます。

このお店では取り扱っている天然由来の素材が非常に多く、詳しい方であれば驚くようなものばかりです。他にも店内には専用の洗面台があり、実際に商品を試すことができます。実際の泡立ちや香りを体験してから購入できるので、初めて来店される方も安心です。

普段、石鹸を使わないという人には香水がおすすめです。シトラス やシダー、グーズベリーなど

独特な香りが楽しめます。他にもヨモギやレッドキヌアから作られたハンドクリームなどもあるので、ぜひ一度試してみてください。

お土産を探している方には、ギフトボックスに入ったセットもあります。迪化街の象徴である近代かつ優雅なバロック建築をモチーフにしたデザインなので、贈り物としてピッタリです。加えて、天然由来の素材しか使わず、無添加にこだわっているので、肌だけでなく地球にも優しいプレゼントになります。

大春煉皂

住所 大同区迪化街一段 234 号
営業時間 09:00～18:00（月曜日～金曜日）
09:00～19:00（土曜日～日曜日）



07



07. 店内では実際に石鹸の香りや使い心地を試すことができます。

08. 大春煉皂では石鹸だけでなくアロマ関連の商品、例えば香水やハンドクリームなども販売しています。

08

富自山中

迪化街の魅力といえば食と歴史です。ノスタルジックな建造物と多くの人で賑わう屋台街の間に隠れている富自山中は、両方の特徴を兼ね備えた趣のある雑貨店です。

富自山中は嘉義県出身の家族が創業したお店で、現在まで家族経営を続けています。このお店の特徴は、内装が昭和の日本の雑貨屋をイメージしてデザインされている点。無垢材で作られた棚やのれん、木箱に積まれた商品など、いずれも歴史を感じる空間となっています。しかし、この魅力的な店内は視覚的に楽しめるだけでなく、台湾の伝統的な一品料理の宝庫でもあるのです。

例えばドライフルーツやナッツ類、ウーロン茶などの特産品、そして米やキヌアといった現地の穀物も取り扱っています。さらに農産物はすべて自然栽培、有機栽培および無添加。また、台湾の農産物はもちろん、メキシコ産のチアシードやペルー産のキヌアといった輸入食品も数多く取り扱っています。

台湾産の農産物は品質が高く、中でもおすすめなのは阿里山のウーロン茶やドライパイナップル。また、種類が豊富な黒糖のお菓子は、値段もお手頃なので選び放題ですし、食べ物系のお土産を探す際におすすめのお店です。



09

富自山中

住所 大同区迪化街一段 220 号
営業時間 09:00 ~ 18:30 (日曜定休)



10

09. 棚には様々な種類のドライフルーツやお菓子がキレイに陳列されています。

10. 伝統的な雑貨屋のイメージを脱却した富自山中には若い世代が訪れるようになりました。

高建桶店

台湾の人たちにとって、三色の構成が特徴的なバッグ「茄苳袋」は文化の象徴とも言えるアイテムの1つ。このバッグを見ると、家族や近所のおばあちゃんたちが週末に買い物から帰ってくる古き良き時代を思い出します。

茄苳袋は台北のあちこちで買うことができますが、品揃いが一番豊富なのは高建桶店です。特に丈夫でオシャレなデザインの商品が多いこともあり、日本人の観光客が多く訪れます。店内には茄苳袋だけでなく、竹編みのバッグなど伝統的な商品も多数取り扱っていて、一部の商品はお店の外に並ぶほど。見方によっては、このお店そのものがたくさんの商品が詰まった大きなバッグと言えるでしょう。

迪化街と言えば、お茶や乾物というイメージが強いですが、高建桶店は実用性のあるお土産が盛りだくさん。例えば、木製の調理器具やインテリアとしても映える収納ケース、籐（ラタン）で編みこまれた可愛いかごバッグなど、いずれも台湾らしい日用品が豊富です。

その他にも、全体的にお手頃な値段で販売されているので、予算を気にせず気軽に購入できる点も魅力の1つです。やや高めに設定されたバッグでもコーヒー2、3杯ほどの値段なので、台湾オリジナルのアイテムで日常に彩りを添えたい方は、ぜひこのお店へ足を運んでみてください。◆

11. 懐かしいアイテムを取り扱っている高建桶店には、老若男女問わず多くのお客さんが訪れます。

12-13. 高建桶店を訪れる際は茄苳袋とかごバッグを購入しましょう。

高建桶店

住所 大同区迪化街一段 204 号

営業時間 09:00 ~ 19:00 (閉店時間不定)



11



12



13



写真 / Wei Wen Chen



台北市立美術館にある中庭のランド・アート「迷霧花園（霧の庭園）」は、もとの「現代エクソシスト」と題された展覧会の一部でしたが、常設の公共緑地として残されています。
@台北市立美術館



01. 保生大帝が祀られている保安宮は、大龍峒エリアに建立されてからすでに200年以上経過しています。

01

台北の歴史的遺産

大龍峒保安宮と保生文化祭

文：Jenna Lynn Cody 編集：下山敬之 写真：Samil Kuo、大龍峒保安宮

台北の歴史的な寺院は文化の中心であり、歴史的な史跡でもあります。市内を鮮やかに彩る寺院の中でも一際目立っているのが大龍峒保安宮です。2世紀以上の歴史を持つ保安宮では、健康と医療の神として崇められる保生大帝を祀っているほか、歴代の名匠による繊細な彫刻、交趾焼、対聯が彫刻された柱、大きな壁画などで覆われています。今回はこの文化遺産の物語と魅力をよりよく理解するため、廟の責任者である廖武治（リャン・ウーザー）氏と、国立台北芸術大学建築与文化資産研究所を修了した文化財研究員である張靖委（ジャン・ジンウェイ）氏にお話を伺いました。

大龍峒保安宮の歴史

保安宮はもともと、中国福建省の同安から移住してきた人々が、1742年に大龍峒に建立したとされています。しかし、最初の保安宮がどこにあったかは分かっていません。

廖氏は、本殿にある保生大帝の像について、こう説明しています。「最初は中国で2体の像が彫られ、どちらが先に大龍峒へ着くのか競争が行われました。その際、先についた像は『老祖』、後についた方が『二祖』と呼ぶという取り決めがなされます。大きな像は嘉義県布袋から陸路で南部へ運ばれ、小さな像は淡水を経由して海路で運ばれました。最終的に小さな像が先に届き老祖、嘉義を経由した方が二祖と呼ばれることになりました」と説明します。

現在の保安宮の広さ

は9917平方メートルにも及びますが、これは1805年に建設が始まりました。その際、より大きな保生大帝の像が台湾で制作され、三祖と呼ばれました。

「廟を建てる場所は、像に示してもらうために一緒に歩いて決めました」と廖氏。

それから130年、保安宮には多くの困難を含む様々な出来事が起こりました。1859年には中国の福建省から渡ってきた漳州人と泉州人の間で武力衝突が発生。保安宮も被害を受けそうになりました。しかし、地元の人たちの活躍で襲撃を退け、事なきを得ます。日本が台北を占領していた1895年には、軍需品の爆発によって建物が破損し、一部は学校に転用されました。1949年には国共内戦に敗れた国民党軍とその家族が中国から台湾に逃れ、

保安宮に避難しています。その後、1967年と1995年に修復工事が施されました。

02. 長年、保安宮で行われるイベントを主催してきた董事長の廖武治氏は、法事も自身で執り行っています。

03. 正殿にある保生大帝の老祖、二祖、三祖の神像。



02



保安宮に祀られて いる神々

保生大帝は西暦979年に生まれ、成人した後は官吏を務めていましたが、やがて保生大帝が奇跡で人々を救ったという噂が広まり始めます。とある逸話では、眼を患った龍が木こりに扮して暮らしていました。そこへ保生大帝が現れ、龍は眼を治してほしいと願いをします。保生大帝は龍に薬を与え、それによって龍の眼は治ったそうです。

その後、時代の変遷とともに保安宮には儒教や仏教、道教の神々が祀られ始めます。有名なところでは孔子や観音、さらには妊娠と出産を司る註生娘娘、土地の神様である土地公、農業を司る神農大帝、海の女神・媽祖などが祀られました。特に道教の最高神であり、天地の創造主である玉皇大帝は、寺院の正面にあ

る香炉と病の最上階の一番奥に祀られています。

また、本殿には保生大帝に仕える黒虎將軍の像が鎮座しています。その昔、ある虎が婦人を丸呑みにしましたが、かんざしが喉に刺さってしまいました。虎は保生大帝に助けを求めましたが、人を殺めた生き物を助けることはできないと断られます。しかし、虎は立ち去らず、その場で懺悔をして今後は殺生をしないことを約束したので、保生大帝は虎を治療しました。その後、虎は命が尽きるまで保生大帝の乗り物として働き、死後も保生大帝を守り続けました。そのため、保生大帝は虎を神とし、人々は黒虎將軍と呼んで祀るようになったのです。民間では旧暦の4月16日を黒虎將軍の祭日として祝っています。



04-05. 願いが叶ってくれたため、信者たちが註生娘娘に謝礼としての刺繍入りの靴を買ってきました。

04

05



06. 保安宮はユネスコが主催する「アジア太平洋文化遺産保存賞」を受賞しました。

07-08. 正殿の内壁に描かれた竜虎は、交趾焼きによって繊細な美しさと雄々しい威厳が表現されています。



06

08



07



保安宮の芸術と建築

寺院の装飾は、単に美しさを追求したものではありません。「保安宮は約280年前に建てられた寺院なので、その建築や装飾には歴史的な意味があるのです」と張氏は言います。

まず目に入るのは、緻密な扉絵と入り口の天井にある非常に高い3本の梁。奥へ進むと中央の門には、顔が色黒な尉遲恭と、色白な秦叔寶という2体の門神が描かれています。2体はそれぞれ繁栄、幸運、昇進を司る神です。また、保安宮には合計5つの入口がありますが、清朝時代にこれほど大きな寺院を建てることは容易ではなかったと張氏は説明します。

本殿は左右対称に見えますが、1917年の改修工事の際に陳應彬、郭塔という別々の芸術家が手がけました。二重構造の屋根の真下には、二人の匠がそれぞれ

れ饗宴と闘争をテーマにした秀逸な彫刻があります。それぞれの作品には、競争の一環として、自分や相手の腕前についてのさりげないコメントが添えられています。「お堂の両側は、芸術家同士の対話の場なのです」と張氏。「ある人は作品に自身の名を刻むかもしれませんが、あえて残さな

いかもしれません。名を残さないのは、素晴らしいものであれば作品自体の良さで評価されることを知っているからです」。

また、一般公開されていない本堂には交趾焼の名品や、19世紀初頭に中国・泉州の匠が手掛けた三十六天王像が展示されています。これらの像は、保生大帝の護衛を務めています。

寺院の東と西の棟にも、様々なこだわりが見取れます。それぞれの棟は伝統的な六角形ではなく、正方形となっています。西棟の上には郭塔が建てた太鼓楼があります。梁を支える



09

木材には鳳凰や龍などが繊細に表現されています。媽祖と土地公が祀られている東棟には陳應彬が建てた鐘楼があります。太鼓楼と同様に巧みな彫刻が施されていますが、中でも特に目を引くのが土地公です。一般的な土地公とは帽子や服装が異なり、宰相のような姿をしています。

参拝の手順

保安宮を参拝する際には、まず正面にある玉皇大帝を表す香炉から始めなければなりません。次に本殿に進み保生大帝を参拝した

あとは、その他の建物にお参りをします。「香炉が玉皇大帝を表しているのは、彼がどのような姿をしているか分からないからです」と張氏は補足します。

続けて、廖氏は「必ずそれぞれに神様に、ご自身の名前と住所を伝えてください。そして子供のことや健康に関して、仕事の悩みな

どを神様に話しましょう。台湾式のおみくじで運勢を占うこともできます。そのためには赤い木片を使って神様にお伺いを立てる必要がありますが、神様から許可がでたらくじを受け取りましょう。くじに書かれている内容は、私たちスタッフが解説します」と説明してくれました。

また、神様によって司る事柄が異なります。健康や医療、仕事に関する悩みは保生大帝に、住まいや土地、事業に関する場合は土地公、旅行に関する場合は媽祖に相談しましょう。

出産や妊娠を司る註生娘娘にお祈りをする際は、お供え物が必要です。子宝を祈願する場合は化粧品や花、刺繍入りの靴をお供えするのが一般的です。また、女の子を希望する場合には、白い花を持参して赤い花と交換し、男の子の場合には赤い花を持参して白い花と交換します。

廖氏は、保安宮では外国

人の参拝も受け入れられていると話します。「以前はカトリックだったフィリピン人の男性が参拝されました。その方の奥さんから、保安宮を参拝したら子供の熱が下がったと電話を頂いたこともあります」。

09. 保安宮の建築の特徴のひとつは、当時職人がメッセージを彫刻して残すことです。

2023年保生文化祭

保安宮では毎年、保生大帝の誕生日を祝う「保生文化祭」を開催しています。このお祭りは通常、数か月にわたって続き、美術展、奨学金交付、講演会、歌劇や演劇の公演、無料医療相談、絵画コンテストなどのアクティビティが開催されます。2023年は4月23日～6月19日に開催される予定です。

「最高レベルの劇団を招聘しています」と廖氏は話します。「非常にクオリティが高いので、1000席ほど用意する椅子は、いつも満席になります。各劇団が演技を披露し終えたあとに、保生大帝が最も優れていた劇団を選びます」。

また、3年に一度、保生大帝が大龍峒と大稻埕を練り歩くパレードが開催されます。このイベントは正午から夕方之間に開催され、翌日には保生大帝の像を清

10. ユニークで伝統的な保生大帝の誕生日を祝うイベントである保生文化祭は、大龍峒保安宮によって発展されました。(写真/大龍峒保安宮)



▶ 2023年保生文化祭

めるために、寺院の向かいの公園で火渡りの儀式(過火儀式)が開かれます。2023年はパレードと火渡りは行われませんが、5月3日の「放火獅」、4月を通じて上演される演劇や歌劇、6月3日～6日に開催される美術展などが楽しめます。



読書のすゝめ

文：Hsuan Yin Chang、Genie Zheng 編集：下山敬之 写真：George Zhan、李惠貞、Yuskay Huang、Boven 雑誌図書館

台北には読書のための資源が豊富にあります。2016年に世界都市文化フォーラムが発表した調査によると、人口当たりの書店数で、台北は世界第2位でした。24時間365日営業の世界的に有名な書店に加え、大手チェーン店や個性的なインディーズストアが数多くあります。

1980年代から1990年代の中正区重慶南路には、百軒以上の書店が軒を連ね、台北で最も書店が密集する地域でした。多くの文学者、知識人、学生にとって、種類や目的を問わず、あらゆる本が手に入る楽園のような場所だったようです。しかし、時代は流れ、オンライン書店の影響や読書人口の減少などにより、この「本屋街」は姿を消します。代わって姿を現したのは、台北の至る所に開かれた独立系書店でした。

読書人口は減ったものの、この街には依然として本好きが多く、紙ベースの本の楽しさを伝えたり、読書習慣を身につけるための講演やイベントを開催している人がいます。ユニコーン読書プロジェクトもそうした取り組みの一つです。

このプロジェクトは、出版業界で20年以上の経験を持つ編集者の李惠貞（リー・ホイジェン）氏によって設立されました。李氏によれば、ある朝突然プロジェクトのアイデアがひらめいたそうです。当時は途方も無い話だと思える人もいましたが、それは彼女が長年にわたって培った編集・出版経験の集大成だったのです。その後、彼女は自分が幸せになれる仕事、つまり読書の推進に専念するために本業を辞めました。



01



読書習慣の確立から始める

ユニコーン読書プロジェクトは、2017年に正式に発足しました。当初、この取り組みがどれほど大きくなるか、李氏は見当もつきませんでした。彼女はその偉大な一歩を踏み出し、あとは天の意思に委ねたのです。そんな同プロジェクトは、今年で6年目を迎えます。

李氏が読書の推進に力を入れるのは、単に出版業が好きだからというだけでなく、「本にはすべての答えがある。読んだ本の内容は無意識に浸透し、自分を成長させる糧になる」と信じているからです。

李氏は、自分が読んだ本の感想をSNSで発信することも多く、内容やデザインなど様々な角度から分析をしています。各投稿の最後には、

表紙のデザイナー、植字工、編集者など、その本に携わった人たちのリストが掲載されています。読者としての鋭い観察眼に加え、李氏が出版業界を支える人たちに深い敬意を抱いていることがよくわかります。

李氏は年に50冊ほど本を読みます。彼女は本と出会ったらすべて味わい尽くさなければならぬと言いますが、一冊を読み終えるまで次の本を読まないわけはありません。朝は知識を深めるために比較的内容の濃い科学書を、就寝前はリラックスするために自然に関する本、出かける前はその時の気分で持っていく本を選ぶそうです。

このような読み方が無限のインスピレーションの源であると李氏は分析しています。また、同じ問題について相反する主張をしている著者を見つけている

同じ結論に至った異なる本を発見することにも喜びを感じると言います。

01. 台北には、多くの本好きが本屋で集まり、勉強会を結成したり交流をしたりしています。(写真/李恵貞)

02. 李恵貞氏にとって読書は生活の中心であり、インスピレーションと人生の様々な答えをもたらしてくれます。

読書の推進に向けた取り組み

書店の風景が大きく変化したのは、社会の読書離れが原因と考える人もいますが、読書を広める李氏は台北の読書習慣が大きく変わったとは考えていません。

読書を促進する過程で、彼女が直面した課題について尋ねてみました。「編集者として、またマーケターとして、新しいアイデアはすべてが挑戦です。でも、それが私たちの仕事なんです。課題が現れたら、それを克服するための方法を見つけてます。今は目標を設定せずに、過程を楽しむような作品を作っています」李氏は続けます。「読書会に来た人の半分が本を買ってくれたり、イベントへの参加をきっかけに本を読むようになる人がいれば、それだけで満足です」。

彼女が数回目の読書会を終えた際、複数の参加者から「本好きの仲間とコミュニケーションを取る方法はないか」という質問がありました。彼女はこれに答えて、ユニコーン読書プロジェクトのファンページを作成しました。現在では、医師やダンサー、公務員など、さまざまな職業の読者700人近くが登録をしていて、必要に応じてイベントの手伝いを行います。ユニコーン読書プロジェクトは、対面でのコミュニケーションが減少している現代において、単に読書を推進するだけでなく、共通の趣味を持つ

03. 本について話す際、李氏は熱心に読書から得た知見を共有してくれます。

03



05



04



05

つ人々が集まって何かを
行い、その過程で深い絆
を育むという貴重な場も
もあるのです。
ユニコーン読書プロジ
エクトが関係しているイ
ベントには、聯合報が発
行する雑誌『500輯』
と共催した講演会「読書

と思索のパーティー」な
どのコラボ企画がありま
す。他にも郭怡美書店と
プレオープンイベントを
開催するなど、1年を通
して読書体験を共有する
機会を数多く提供してい
ます。

書店の特徴を探る

本屋に立ち寄るのが趣
味という李氏は、娘さん
と二人で、わずか1カ月
の間に日本にある66箇所
の書店を巡ったことがあ
るそうです。本の目利き
でもある彼女は、本屋に
並ぶ本を見ると店主の嗜
好が分かると言います。
見栄えを重視したディス
プレイにしているのか、
テーマごとに整理して探
しやすさを重視している
のかなど、長年の経験で
培われた感覚で、書店の
特徴を探ります。

彼女によれば、台北市
大安区にある「童里絵本

04. 勉強会で参加者が好きな本を選び、ほか
の人との交流でインサイトが見つかります。
(写真/李惠貞)

05. 李氏が本好きなのでいつも本を持ち歩いて
います。

洋行」と「Boven 雑誌図書館」と「Boven 雑誌図書館」は、非常に個性的な書店です。潮州街にある「童里絵本洋行」には、世界各国の優れた絵本が集められています。2つ折りの絵本や飛び出す絵本など種類が豊富で、大人から子供まで楽しめます。視覚デザインや構成に興味がある人にとって、絵本はインスピレーションと創造性を提供してくれる最高の媒体です。

一方、復興南路にある「Boven 雑誌図書館」は、アジア初の雑誌を専門とする図書館で、1万冊以上の雑誌を所蔵しています。世界各国のさまざまな雑誌が揃っていますが、特に台湾の人たちが憧れる日本の生活情報誌が多いのが特徴です。また、雑誌作りに携わる人たちが、展示会や講演会、交流会などのイベントを行うためのスペースも用意されています。

「本を選んだ瞬間から

読書は始まっている」と李氏は言います。「あなたが選んだ本には、あなたが何を考え、何を心配し、何を切望しているかが表れています」。彼女は読書がいかに素晴らしいものかを知っています。その体験から、人生の方向性を見つける方法として、また自分自身や世界の可能性を探る方法として、多くの人たちに読書を推奨しているのです。📌

06-07. 童里絵本洋行には多彩な絵本が揃っており、それぞれ異なるインスピレーションを大人にも子供にも与えてくれます。(写真 / Yuskay Huang)

08. Boven 雑誌図書館は世界的にも珍しい雑誌専門の図書館であり、居心地の良い空間を提供しています。(写真 / Boven 雑誌図書館)



07



06



08



おすすめ

書店

童里絵本洋行

住所 大安区潮州街 15 号
 営業時間 12:00～18:00 (火曜日～金曜日)
 11:00～18:00 (土日)
 (月曜日定休)

BOVEN 雑誌図書館

住所 大安区復興南路一段 107 巷 5 弄 18 号 B1
 営業時間 10:00～21:00

書籍

『才能を磨く—自分の素質の生かし方、殺し方』

ケン・ロビンソン

ベストセラー『才能を引き出すエレメントの法則』の著者であるケン・ロビンソンは、専門家がプレゼンテーションを行う番組 TED で最も視聴された講演を行った人物です。CNN が選出する世界有数の専門家「Principal Voices」の一人にも選ばれています。

本書は自分の興味や情熱がどこにあるのか分からない人に、勇気と新たな自信を与えてくれる一冊です。人生の悩みに対する答えを見つけない人にオススメです。

『朝一座生命的山（命の山の巡礼）』

李惠貞

あらゆる人に読んでほしい一冊。本書の中核となる菩薩寺の美と哲学が、デザインにもそのまま現れています。

本のジャケットは土に還るシードペーパーで出来ているほか、見返しに反射ミラーシートを使用することで読者の顔を反射させ、自身と向き合う旅をさせるという工夫がなされています。



09

09. 李氏オススメの本と取材当日に携帯していた本。



01

インクルーシブ教育がもたらすウィンウィンの関係 出稼ぎ労働者を人的資本へ

文：Rick Charette 編集：下山敬之 写真：One-Forty、Yuskay Huang、台北市観光伝播局

「私たちの社会の発展は、文化や言語背景の異なるさまざまな国の人たちといかに共生するかによって決まる」

—台湾 NGO 「One-Forty」

内政部の調べによると、現在台湾に居住する外国人の70%は出稼ぎ労働者です。台北市で増加の一途をたどる出稼ぎ労働者に対処すべく、台北市政府は一時居住者向けのケア・カウンセリング対策を強化しました。

こうした取り組みを補っているのが、まだ設立年数の浅い NGO 組織「One-Forty」です。台湾の出稼ぎ労働者の生活向上に焦点を置き、中国語 / 台湾語の学習、現地文化に関する教育、実用的なライフスキルの向上の機会を提供しているほか、出稼ぎ労働者のための社会支援活動にも従事しています。彼らは出稼ぎ労働者を一時的な労力としてではなく、専門的な知識・技能を持つ人材へ、短期雇用の作業要員ではなく、生涯を通じた台湾の「チームメイト」と見なしているのです。

「One-Forty」創業者兼 CEO の陳凱翔（チェン・カイシャン）氏は、台湾ではこうした取り組みによるメリットがすぐさま現れている、と説明しています。スキルの幅が広がり、幸福度が上がった労働者はより長く滞在する傾向にあり、その分仕事の経験値を積み上げ、雇用主に対する自分の価値をさらに高めるからです。台湾にプラスのイメージをもって帰国する労働者は、「台湾ブランド」の国外への拡散にも一役買っています。

台湾の出稼ぎ労働者の現状

労働部の統計と、台北市労働力重建運用処の外国人労働者カウンセリング課で課長を務める徐郁涵（シュー・ユーハン）氏によると、台湾の現在の出稼ぎ労働者数は727000人以上。そのうち、506000人が工場、建設業、漁船漁業などの労働集約型産業に従事し、残りの221000人が社会福祉職（大多数が在宅介護スタッフ）として働いています。「彼らは台湾全体の人口の3.1%を占めています」と徐氏は説明します。つまり、台湾に住む人の32人に1人が出稼ぎ労働者なのです。国別の出稼ぎ労働者数上位3か国は、ベトナム、インドネシア、フィリピンです。

徐氏によれば、「台北市の出稼ぎ労働者数は現

在390000人を超えており、台北市の人口の1.6%に及びます。そのうち、約26000人が労働集約型産業に、37000人が社会福祉サービス業に従事しています。国籍別にみると、インドネシア人が最も多く、次いでフィリピン人、ベトナム人となります。現在サービス業は台北市の経済の大部分を占めており、出稼ぎ労働者の過半数が介護スタッフです」。

「OneForty」の陳氏は次のように説明します。「ほぼすべての出稼ぎ労働者が、自国では得られない経済的機会を求めてやって来ます。そして、ほぼすべての人が、高等学校教育またはそれ以下の教育しか受けていない人たちです。彼らの台湾での在留期間は通常8〜10年。彼らの大半は自身が自国の家族の生計を支えています。彼らの多くは子供を国に残してこな

ければならず、家族を恋しがっています。稼ぎのうち、できるだけ多くの金額を送金し、自身は台湾で質素な生活を送っているのが現状です」。



02

01. 言語学習をすることで、出稼ぎ労働者たちが台北の文化や環境に適応しやすくなるだけでなく、現地の人との行き違いも減らせます。

02. 台北の急速な産業発展によって、多くの出稼ぎ労働者たちは介護職に従事しています。

03. 仲間とともに立ち上げた様々なイベントや取り組みを紹介する陳凱翔氏。（写真/Yuskay Huang）



03

台北市が提供する ケア・カウンセリングリソース

台北市の出稼ぎ労働者の約90%が在宅介護職に従事しているため、台北市政府ではこうした人たちに集中的にケア・カウンセリングサービスを提供している、徐氏は説明しています。とりわけ、言語学習と介護スタッフのスキルトレーニングの2つの領域に重点が置かれています。

言語のレッスンは、台湾華語と台湾語の両方が提供され、これによって介護スタッフが上手くコミュニケーションを取れるようになり、問題の解決や回避に役立ちます。同時に、全体として労働者が台湾で生活しやすくなり、地域の文化によりスムーズに適應できるようになるのです。

要介護者のニーズはさまざまなので、介護スキ

ルも多岐に渡ります。労働者は1対1でのサポートを申請でき、訪問先にスペシャリストや通訳を派遣してもらいます。そこで、要介護者のニーズを聞き、内容に応じたスキルを学ぶことができるのです。

リソースは限られているため、市のカウンセリングサービスには定員があります。「需要は堅調です。提供しているすべての対策支援サービスは、すぐに申し込み上限に達してしまいます。台北市政府の各機関が関わっているため、こうした対策支援サービスの実率は常に100%です」と徐氏は説明します。

台北市政府では、文化教育に関する特別なクラスや活動を主催しています。市が招いた出稼ぎ労働者が自国の文化を台湾市民に紹介し、文化に関する相互理解を深め、双方のギャップを埋めようという試みです。

この一例が、年1回開催されるイスラム教の文化を紹介するイベント「台北イー・ド・アル・ファイトル」です。ハラルマーケット、イスラム人の歌手や劇団によるパフォーマンス、文化体験ブースなどの特別な催しや、イスラム文化でお馴染みの楽器「ウード」の演奏、アラビア語の書道体験などといった活動が行われています。

台湾NGO「One-Forty」のストーリー リーとミッシェン

「One-Forty」が設立されたのは2015年のことです。もともと陳氏は、大学在学中にフィリピンでボランティア活動に従事していました。そこで現地地で知り合った友人の親族が、台湾で出稼ぎ労働者をしていることを知ります。陳氏は、帰国後すぐに多くの出稼ぎ労働者たちと顔見知りになり

ました。現地の友人と、台湾の出稼ぎ労働者という2つのグループを通じて、彼らが直面する多くの困難を知った陳氏は、「One-Forty」を立ち上げることが自分にできる最善の支援だと考えたのです。「One-Forty」という

名前の由来について「とてもシンプルな理由です」と陳氏は言います。「この組織を設立した当時の台湾市民に対する出稼ぎ労働者の比率が約40分の1だったので。台湾の人々がこの変わった名前に興味を持ち、台湾



04

のいたるところで暮らしている出稼ぎ労働者が、自分たちの日常生活やコミュニティの一部であることを知るきっかけになればと思います」。

「OneForty」は「すべての移住者の体験を感動的で価値あるものにする」をモットーとしています。

ライフスキル教育のためのリソース提供

「OneForty」は、自国から離れた生活への適応を支援しているほか、出稼ぎ労働者たちの実用的な知識やスキル獲得のための教育支援、能力の向上を目標としています。また、彼らの帰国後の財政的な自立手段の提供も目標の1つです。「貧困という悪循環を断ち切り、より良い将来への扉を開くことができるよう支援したいと考えています」と陳氏は補足します。

そのため、「OneForty」

は、台湾最大の出稼ぎ労働者向け学習コミュニティを開設しました。これ

について、陳氏は自信を持って説明してくれました。「これまで、延べ73000人以上の出稼ぎ労働者が私たちの学習コミュニティに参加しています。私たちの教育施設では、台湾華語や台湾語の習得、台湾の地域文化と生活環境、ファイナンシャルプランニングといったテーマのクラスが対面形式で実施されています」。一般的に出稼ぎ労働者の唯一の休日となる毎週日曜日に、クラスを実施しています。

「施設に來れない人たちに向け、オンラインプラットフォームも開設しました。YouTubeチャンネル『Sekolah OneForty』を作成し、現在300以上の言語で動画を配信しています。いずれも5〜10分の長さなので、自分のペースで学習すること

ができます」と陳氏は続けて説明します。

「OneForty」には、台湾に新たにやってくる出稼ぎ労働者向けに、1年間の遠距離学習プログラムも提供しています。台湾でどうか生計を立てられる状態から、豊かに暮らせる状態に速やかに移行できるように支援することに特化しています。「スタディパートナー学習キットは、言語学習、台湾の地域文化の理解（バスの乗車、買い物、病院の受診など実用的なマナーを含む）、雇用主とのより良いコミュニケーションに特化した、物理的な教科書とオンライン補足学習を組み合わせた画期的なリソースです」と陳氏は説明します。労働者は、彼ら専用のオンライン学習クラブに参加します。このクラブでは、新たな生活拠点で新しい友人を見つめるお手伝いをしつつ、教育動画やライブ配信授業も彼らの母国語で提供しています。



05

04. 台北で行われる年次のイード・アル＝フィットルは、イスラム文化を学び、ウッド演奏を体験する機会を提供します。(写真 / 台北市観光伝播局)

05. One-Forty が開発した教材の「スタディパートナー学習キット」は出稼ぎ労働者に北台湾華語を勉強する内容でしかも台湾での日常生活にも関わります。



06

06. One-Forty は台湾の出稼ぎ労働者の問題に関心を持つ若者たちで構成されています。

社会支援活動の取り組みと直面する問題、誇らしい実績

「One-Forty」が直面する最大の問題は、出稼ぎ労働者が不誠実や怠惰である、地元民から仕事を奪うといった、社会にはびこる先入観だと陳氏は説明します。ここ数年で、こうした先入観はかなり改善されたものの、やるべきことはまだまだあります。「One-Forty」では、地元民と出稼ぎ労働者のコミュニティを「隣人」として共存させる社会的な支援活動こそが最善のアプローチだと考えています。

「社会にはびこる先入観は、雇用主側の不信感につながり、社会的統合を妨げ、労働者側が孤独感や疎外感を感じてしまいます」と陳氏は説明します。同 NGO では、10年かけてこうした偏見・

先入観をなくしていく長期的なキャンペーンに取り組んでいます。「文化交流を図るための活動、展示会、記事、動画などを通して、すべての夢が平等であることを伝えながら、出稼ぎ労働者の実態を伝えていきます。毎年重要な機会となるのが、人気の『台北イード・アルII フォイトル』の催しです。私たちは、この場で交流活動や特別展示を行っています」と陳氏は続けて説明します。

これまで、延べ10万人以上の市民が、同 NGO の社会支援活動に参加しています。「私たちの活動範囲も着実に広がっています。現在では22の都市と地方が対象です」と陳氏は話します。

労働者は帰国後に、サロンからレストラン、店舗やユニークなベンチャー企業など、さまざまな事業を展開しています。「帰国後、タピオカミルクティ専門店

出稼ぎ労働者を支援するその他の NGO

① 台湾国際労工協会

国内初のNGO「Taiwan International Workers' Association」（台湾国際労工協会）は、出稼ぎ労働者へのサービス提供に特化しており、労働権利のキャンペーンに積極的に取り組み、出稼ぎ労働者自身の組織化を支援しています。



② 台湾外国人就労者発展協会

「Global Workers' Organization, Taiwan」（台湾外国人就労者発展協会）は、機能・職業訓練を提供し、雇用の仲介を行っています。



③ 新事社会服務中心

「Rerum Novarum Center」（新事社会服務中心）は、出稼ぎ労働者と台湾原住民コミュニティの労働組合に関する取り組みや、彼らに特化したトレーニングに従事しています。



④ 台湾人権促進会

「Taiwan Association for Human Rights」（台湾人権促進会）は、国内の人権ポリシーのモニタリング、人権擁護、ワークショップ、ボランティアトレーニング、さまざまな個別ケースのサポートに従事しています。



07



08

07-08. One-Forty は出稼ぎ労働者に教育の機会を提供するだけでなく、現地の文化を深く理解するための支援も行っています。

を開店した人もいれば、小さな羊農園を始めた人もいます。労働者の帰国後の暮らしの確認、必要に応じたライフスキルの継続的な支援、帰国した労働者からアイデアを募りサービスを改善する、この3つを基本目標として掲げ、毎年東南アジア諸国にチームを派遣しています」。

「OneForty」の影響力の大きさにについて、「自社の出稼ぎ労働者のために、特

別プログラムをしてほしいと依頼してくる台湾企業が増えました。スーパーバイザーやジュニアマネージャーなどの昇進に必要なスキルを取得する労働者が増えているのです」と陳氏は補足します。

台湾政府と同NGOが行うインクルーシブ教育は、「すべての関係者がウインウィンになるのです」と陳氏は説明します。◆



写真 / Samil Kuo



大龍峒エリアにある大龍峒保安宮は、長い歴史を持つ重要な文化財です。
@大龍峒保安宮

台北餃子ガイド

文：Kuan Yuan Chu 編集：下山敬之 写真：Kungku Chen、Taiwan Scene

餃子は、近代の通貨が登場する以前の貨幣である元宝にその形が似ていることから、昔から幸運をもたらす食べ物と信じられてきました。台北には食欲をそそる餃子専門店がたくさんあります。

今回は、ライフスタイル雑誌『好感』やグルメ雑誌『食尚玩家』の編集長を務める専門家、徐延之（シュー・イェンズー）氏をお招きし、一市民としての視点、そして業界人としての視点から台北の多彩な餃子を紹介して頂きました。



01. 餃子は台湾における庶民の味です。

01

台北の人にとっての餃子

「台北の人々にとって餃子は、日常の中にある庶民の味です」と徐氏は言います。その詳細について、餃子の社会的・政治的背景を自身の経験をまじえつつ紹介してくれました。

社会的な観点から見ると、餃子は1948年

から1950年にかけての中華民国政府の到来と、それに伴う数百万人規模の移民によって、台湾の人々の歴史と生活に溶け込んだ食べ物と言えるでしょう。中国北部から来た人たちが、餃子など小麦粉を使った食べ物を台湾に持ち込んだのです。

「台北では、山東餃子店、青島餃子店など、中国の地名が入った店名を

よく見かけますが、それもそうだった歴史的背景があるからです」と徐氏は言います。

1970年代になると、餃子を食べることは特別なことではなくなっていました。「一番美味しい餃子は？と聞かれたら、誰もが『お母さんが作った餃子』と答えるでしょう」。各家庭で作られる餃子には、それぞれの家

庭の味があると徐氏は言います。「子供のころ、お弁当に手作りの餃子を持って学校へ行きました。私たちの世代にとっては、日本のお弁当に入っている梅干しと同じで、学校での昼食の思い出となっています」。徐氏は懐かしい経験を思い出しながらも、「お弁当の時間がいつも楽しみでした」と話してくれました。

餃子は昔ながらの料理ではありません。お腹も心も満たしてくれる餃子のお店は、どの街にもあって、忙しい都会で人々の心を癒すように常にそこに存在しています。「心を癒してくれる食べ物であり、いつでもどこでも気軽に食べられる。餃子とはそういう存在なんです」と徐氏は言います。



02



03

02. メディア関連の仕事をしている徐延之氏は、餃子に関する知識が豊富です。

03. 餃子の餡は味の決め手です。

餃子の名店探し

餃子はどの家庭にも独自のレシピがあり、台北のレストランで食べられる味も千差万別です。そこには、中国の異なる地域からの移民が何世代にもわたって集まり、交流を重ねてきた都市であるという台北の本質が現れていると徐氏は指摘します。「街そのもののサイズは小さいですが、さまざまな人々や文化のるつぼとなっているのです」。

そのため、台北の餃子はバラエティに富んでおり、ほとんどのお店に独自のレシピがあります。ですが、徐氏をはじめ台北に住む多くの人にとっては、子どもの頃の懐かしい味が今でも一番の匂いに入ります。「餡の中に斬新な具材を使っているところもあります。でも、個人的には受け入れられません。昔ながらの、伝統的、本格的な餃子が

好きなんです」と徐氏は笑って話します。「イタリア人にとってハワイアンピザが屈辱的であるように、私にとって餃子というのはキャベツや白菜、ニラなどが入っているベキ料理なんですよ」。

台北には餃子の名店が点在しています。それぞれがオリジナルの味を持っているので、美味しい餃子を探すことは徐氏の楽しみなのだそうです。「美味しい餃子に出会うというサプライズは、人生における小さな幸せであり、しかも簡単につかむことができます」。

04. 鼎泰豊が提供する蒸し餃子の品質が安定し、お店で働いている料理人の姿はよく知られているシーンです。(写真 / Taiwan Scene)

04





蒸し餃子



水餃子



焼き餃子



鍋焼き餃子

餃子の種類

最もポピュラーな水餃子のほかにも、さまざまな調理法のものがあります。中でも人気なのが、蒸し餃子（蒸餃）、鍋焼き餃子（鍋貼）、焼き餃子（煎餃）です。

蒸し餃子は小籠包に似ており、木製のせいろで調理されます。店によっては、せいろの下に松の枝を敷いて、松の香りを加えているところもあります。また、蒸し餃子と水餃子では違う皮を使っています。蒸し餃子は調理過程で皮が固くなってしまうやすいのです。これを避けるために、生地を熱湯で練ると餃子が絶妙な柔らかさになります。蒸し上がりは、ゼリーのような透明感があり、味もふんわり濃厚です。鍋焼き餃子も焼き餃子もフライパンで焼き上げるので、違いがわからないかもしれません。しか

し、形は全く違います。

鍋焼き餃子の方が焼き餃子よりも長く、通常は皮の両端を開いた状態にしています。また、鍋焼き餃子は水分が少なくなるため、非常にパリパリとした食感をしています。

一方の焼き餃子は元宝の形に似ており、鍋焼き餃子よりも水を多く入れてフライパンで焼き上げます。

徐氏によると、かつての台湾では焼き餃子は一般的ではなかったそうです。この形状のものは主に鍋物の具材でしか見かけません。焼き餃子は、日本の文化や料理が台湾に伝わった西暦二千年のころに初めて普及したものです。日本の餃子は皮が薄く、味も濃いので主におかずとして食べられるのに対し、台湾では主食として食べられます。

おいしい餃子の条件

皮

「私に言わせると、まず何より重要なのは皮です」と徐氏は言います。生地と皮は餃子を口に入れたときの食感を決定づけます。最高の皮は、手作りの出来立てでなければなりません。一番の違いはその滑らかさ。もちもちの食感は、出来立ての皮でしか味わえません。

作りたての皮は、餃子同士がくっつかないように小麦粉を多めに使うので、唇や舌に触れた時に柔らかい食感が感じられます。機械で作った皮は薄くできま

すが、乾燥すると硬くなりやすいのです。皮と言えば、おいしい鍋焼き餃子と焼き餃子の重要な要素として、餃子の周囲にできる「羽」もポイント。これがパリッと楽しい食感を与えてくれます。徐氏のおすす

は、ブルマンに選出された信義区のレストラン「都一處 (Do it True)」。

「この「裾褌火焼」は、徐氏が台北で最もおいしいと認める鍋焼き餃子です。

皮はパリッと香ばしく、餡をしつかり包み込んでジューシーに仕上がっています。

具

具の組み合わせも美味しい餃子の決め手となります。それぞれの材料の相性が完全にマッチしていることが肝です。例えば、徐氏おすすめのレストラン「三老村」では、魚の水餃子が提供されています。この魚餃子の具

は、中に入っているニラが魚の淡白な味と最高にマッチしており、絶妙なバランスを演出しているのです。また、青島餃子館では、豚肉の餡に絶妙な割合で生姜を混ぜており、さっぱりとした昔な

がらの餃子が楽しめます。

また、徐氏は張記鍋貼牛肉麵の餡についても話しています。一般的なニラではなく、黄ニラを使った餡は、他店とは一線を画しているのだとか。

タレ

タレも非常に重要な要素であり、徐氏はレストランのオーナーに「このお店ではどんなタレを置いていますか」と尋ねることで、そのレストランを判断することもあるそうです。龍門客棧餃子館のような自家製ソースも重要なポイントで、店主のおすすめを聞きながら、そのお店の最高の味を想像します。

一般的には、醤油、ごま油、酢の3つでいただくのが定番です。これら3つの要素だけでなく、台北の餃子店では、副菜や煮込み料理も含めた総合的な美食体験が満喫できると徐氏は言



05

います。特に龍門客棧餃子館の林森店は、全ての要素がうまく調和したお店であると高く評価しています。◆

05. 餃子の食べ方はいろいろです。水餃子を牛肉スープや酸辣湯に入れて食べるのは定番です。



06



07

06. 日本の居酒屋や立ち飲みの文化からアイデアを得た臺虎居餃屋では、ビールと焼き餃子を一緒に召し上がるのが完璧な組み合わせです。(写真 / Taiwan Scene)

07. 完璧な餃子には、それに合う一品料理が欠かせません。

おすすめ

水餃子

龍門客棧餃子館 (林森店)

住所 中正区林森南路 61 巷 19 号
営業時間 17:00 ~ 22:45 (月曜日定休)

青島餃子館

住所 中山区龍江路 199 号
営業時間 11:00 ~ 14:00; 17:00 ~ 21:00
(月曜日~金曜日)
(土日定休)

三老村

住所 文山区木柵路三段 5 号
営業時間 11:30 ~ 14:30; 17:00 ~ 20:30
(月曜日~土曜日)
(日曜日定休)

鍋焼き餃子

都一處 (仁愛店)

住所 信義区仁愛路四段 506 号
営業時間 11:00 ~ 14:00; 17:00 ~ 21:00

張記鍋貼牛肉麵

住所 中正区延平南路 101 巷 6 号
営業時間 11:00 ~ 14:00; 16:30 ~ 19:30
(土日定休)

焼き餃子

臺虎居餃屋

住所 大安区金華街 155 号
営業時間 16:00 ~ 23:30 (月曜日~木曜日)
11:00 ~ 00:30 (金曜日~土曜日)
11:00 ~ 23:30 (日曜日)

蒸し餃子

鼎泰豊 (新生店)

住所 中正区信義路二段 277 号
営業時間 11:00 ~ 20:30 (月曜日~金曜日)
10:00 ~ 20:30 (土日)

台北にある伝統的な菓子店

文：Tina Teng、Yu-Wen Lin 編集：下山敬之 写真：Yuskay Huang、台北犁記、福利麵包

台湾には伝統的な焼き菓子「糕餅（ガオベン）」があります。主な材料は小麦粉や砂糖、手作りの餡で、中秋節や結婚式、祭事の際に贈られます。この他にも19世紀の日本統治時代には、和菓子や西洋のパンが台北に広まり、戦後のグローバル化の影響を受けて、現在ではコンビニの定番商品となりました。

時代が進むにつれて老舗の菓子店は、台湾の人たちにとって無くてはならないものになり、その匂いを嗅ぐだけで当時の様子を思い出すほど深く根ざしたのです。加えて、現在では台湾各地の名産品であるフルーツを使った菓子作りも始まっています。

19世紀に創業した伝統的な中華菓子専門店「台北犁記」、20世紀初期に創業した和菓子屋「明月堂」、戦後に西洋のパンと菓子を台湾に取り入れた人気ベーカリー「福利麵包」、これらはいずれも台北にある隠れた老舗の菓子店です。どのお店も変わらない味を提供し続けているだけでなく、都会の中に人情味あふれる憩いの場を提供しています。

01. パイナップルケーキは、観光客だけでなく地元のお客さんにも人気です。



01



02



03



04



台北犁記

伝統中華菓子の名店

中山区の長安東路二段にある台北犁記は、春節や中秋節の時期になると伝統の糕餅を求める人たちが長蛇の列ができます。主要な商品は、パイナップルケーキや緑豆入りの月餅、太陽餅などです。保存期間は1～2週間と比較的長めで、持ち運びにも便利なパッケージとなっているので、観光客に人気があります。

台湾の糕餅は、緑豆をペースト状にした濃厚で柔らかい餡が入ったものが主流です。皮をむいた緑豆を1時間以上蒸したら、煎って乾燥させ、砂糖やクルミ、豚肉でんぶなどと合わせます。それによって生まれる甘さとしょっぱさが入り混じった絶妙な風味が特徴です。また、卵を使わずに作った外側の白い薄皮も繊細でフワフワとした食感が楽しめます。

台北犁記は緑豆菓子の専門店として創業したお店で、当初から黄金色の餡を作り続けてきました。この特徴的な餡は、緑豆に卵黄を加えて作られています。この他にも小豆やデーツ（ナツメヤシ）を使用した卵黄ケーキなどもあります。ベテランの従業員たちの中では特に、ナツメと蓮の実をピューレ状にしたデーツの餡が人気です。

同店では台湾名物のパイナップルケーキも販売していて、日本や韓国からの観光客がよく訪れます。伝統的なパイナップルケーキの餡といえば冬瓜（トウガン）でしたが、近年では台湾産のパイナップルを使用した種類も誕生しました。パイナ

ップルを使用することで、南国のフルーツならではの酸味と香り、そして繊維質な果肉の食感も楽しめます。

さらに、台北犁記では珍しいデーツ入りの松の実パイやパイ生地をベースとした小豆の卵黄ケーキなども販売しています。パイ生地にすることで口当たりが柔らかくなっています。どれを買っていいかわからない人には「平安禮盒」というセットがオススメです。

この3年間、台北犁記では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインによる注文が増えたそうです。そのため、現在では一部の商品に限り、香港とマカオへの配送ができます。ただ、店舗のほうが取り扱っている商品数が多いので、多くのお客さんは直接店舗へ足を運んでいます。

02. 緑豆入り月餅の餡は甘く、香ばしい風味が特徴です。

03. デーツ入りの松の実パイはここ最近、非常に人気があります。

04. 定番の卵黄ケーキは台北犁記の看板商品です。



明月堂

米と小豆で表現する至高のアート



05

明月堂は日本統治時代に創業した正統派の和菓子店です。ほのかな甘さと繊細な食感のあんこが特徴の和菓子は、お茶請けとして多くの人に親しまれています。

明月堂が創業した1935年当時、台湾総督府に近い栄町には数多くの和菓子店が並んでいました。現在の店主はまもなく90歳を迎える2代目の周宜文（ジョウ・イーウエン）氏。80年以上に渡り、台湾にある日系企業、お菓子やお茶の愛好家たちから愛され続けてきました。

和菓子の真髄であるあんこ作りは、非常に繊細な工程を要します。まず不純物を除去するために小豆を煮て、そこから渋みを抑えるためにろ過を繰り返さなければいけません。そこから裏ごしをして滑らかにするとこしあん、粒を残せばつぶあんができます。この他にも甘納豆や羊かん、もなかの餡などにアレンジも可能です。明月堂は台北市内に2店舗あり、それぞれ小豆を使用した6種類のお菓子を販売しています。

人気の商品は春限定で販売されるイチゴ大福。数量に限りがあるので、お買い求めの際は事前予

約が必須です。大福の皮にはペースト状にしたもち米を使用しており、他では味わえない独自の食感が楽しめます。この他にも栗大福や豆大福など季節ごとの商品も販売しています。ただし、季節限定の和菓子や大福は日持ちしないので、その日のうちに食べきるようにしましょう。



06

05. 明月堂の小さい店舗はいつも多くのお客さんで賑わっています。(写真/Yuskay Huang)

06. 和菓子は季節や見た目の特徴にあったユニークな商品名をつけています。(写真/Yuskay Huang)



07

07. 春限定のイチゴ大福は、酸味と甘味のバランスがとれたデザートです。(写真/Yuskay Huang)



08. 福利麵包では、種類豊富なパンやクッキー、ケーキの他に軽食も販売しています。(写真 / 福利麵包)

09. 福利麵包は70年以上の老舗で、パンが西洋式に見えますが、本格的な台湾の味がしています。(写真 / 福利麵包)

10. 非常に人気のあるガーリックフランスパンは、焼き上がるとすぐに売り切れてしまいます。(写真 / 福利麵包)

08



福利麵包

世界のパン大集合

福利麵包は台北の西洋式ベーカリーの先駆けとなったお店です。創業した1949年当時は、アメリカの軍事顧問へパンの供給を行っていました。ラインナップはクラシックなフランスパンや懐かしい台湾式のお菓子、中東のピタパン、素朴なビスケットなどで、その種類の豊富さから「パンの国連」という愛称で親しまれています。

長年に渡り愛されている商品はガーリックフランスパン。雲林県産の新鮮なニンニクとニュージーランド産バターを使用しており、濃厚な風味が楽しめます。他にも砂糖不使用で、ナッツの食感と風味が特徴的な「宝島穀物老麵面包（台湾風サワードウ）」も人気です。

旅行者におすすめなのは、2週間以上日持ちするトルティーヤチップス。天然の植物油で粉状にしたトウモロコシを焼き、シナモンパウダーと砂糖をまぶして完成です。ベジタリアンでもお召し上がり頂けます。📍



09



10



01

01. ICRT のマネージャーを務めるティム・ベルジ氏は、ラジオ業界に 30 年以上勤め、台北という街とメディアの発展に携わってきました。

ラジオパーソナリティが見た台北

文：Kuan Yuan Chu 編集：下山敬之 写真：Samil Kuo、Taiwan Scene、Yi Wen Tsao、ティム・ベルジ

2022 年、台北はライフスタイル誌『Monocle』による「最も住みやすい都市」第 10 位に選出されました。出入国を管理する内政部移民署が発表している最新の統計によると、現在、台北市には約 7 万人の外国人が居住しています。台北のラジオ局でゼネラルマネージャーを務めるティム・ベルジ (Tim Berge) 氏もまた、海外から台湾に移住した外国人の 1 人です。

エレガントでシックなスタイルを好むベルジ氏は、長身でスリムな体型をしていて、「できるなら毎日でも着たい」と語るほどお気に入りのポール・スミスの黒ブレザーと洒落たネクタイを着こなしています。しかし、いざ話してみると、ベルジ氏の「台湾人」ぶりに大いに驚かされることでしょう。温厚でフレンドリーな物腰とネイティブさながらの流暢な中国語。台湾在住歴 30 年以上というのも納得です。

台湾の第一印象

太平洋の大海原の遙か彼方、ミネソタ州ミネアポリスで育ったベルジ氏は、世界中を回っていた巡業宣教師から、東アジアの魅力的な話をよく耳にしていたと言います。そうして、広大な海のどこかに台湾という小さな島があることを知るので。

ベルジ氏は東アジア文化への関心を高め、将来は台北に定住することを決意します。事実、大学時代の外国語の授業では北京語とロシア語を選考しました。「当時は、お前は共産主義者なのか、などと言われたものです」とベルジ氏は笑いながら振り返ります。

ベルジ氏は中国語の上達のために、大学の留学プログラムに参加し、1年間香港で生活しました。その時、夏休みを利用して、かつて異国の地についてたくさんの話を聞か

せてくれた宣教師を訪ね、想像するだけだった生活を実際に体験することを決断。1979年、ベルジ氏は初めて台湾の地を踏んだのです。台湾に到着したときの第一印象を尋ねると、香港での経験と比較し「台湾は本当に良かった。台湾がもたらしてくれた感

覚は、よりリアルなものでした」とベルジ氏は答えてくれました。さらに、香港の問題点として、序列や社会的・経済的な地位を過度に重視する傾向があるそうです。それに比べ、人々との真のつながりがある点が、台湾の魅力の1つだと言います。



02

02. 第42代アメリカ合衆国副大統領ウォルター・モンデルの妻ジョーン・モンデル氏が文化交流のために台北にきたとき、ベルジ氏がハワードプラザホテル台北に彼女と会話を。（写真/ティム・ベルジ）

03. バイリンガルの道路交通情報リポーターからマネージャーまで、ベルジ氏は常に仕事を楽しみ、新しい挑戦を続けています。

03



台湾の文化に 触れる

このように台湾の第一印象が良かったこと、そしてより良い中国語学習環境が得られるという希望を胸にベルジ氏は再び渡台。1981年に国立台湾師範大学の中国語プログラムに参加し、1988年からは台湾で仕事を始めました。

それでも台湾に住み始めた当初は、文化的、環境的なショックの連続で、桃園の空港から台北へ向かうときに、ふと「僕は何をやっているんだ」と思ってしまったと言います。当時の台湾は、交通事情が非常に乱雑で、気候も身体に合わなかったことから、一時は毎日のように体調を崩していました。しかも、当時は戒厳令が敷かれており、人々は恐怖に怯え、地域社会が閉鎖的だったことを彼は今でも覚えていいます。

「私と同世代の台湾の若者は、自由に踊ったり飲んだりして楽しめるような場所に行く勇氣はなかったと思います」とベルジ氏は語ります。

台湾で働き始めてすぐ、誰もが上司に対してやや卑屈な態度をとるというオフィス文化に気づき、これに悩まされます。「お世辞を言うことは悪いことではありません。でも、それが行き過ぎると問題です」。ベルジ氏は母から言われた言葉を教えてくれました。「いい言葉が思い浮かばないなら、何も言わないこと。tān-tān(台湾語で黙るの意)です」。外国人の口からこんな言葉を聞いたら、台湾人はびっくりするでしょう。

もうひとつ、ベルジ氏が不思議に思ったのは、台湾の労働者が昼休みにみんな昼寝をしていることです。「アメリカ人が見たら、そんなに疲れているのかとか、昨晩は寝て

いないのか、などと思っ
てしまいますよ」とベル
ジ氏は笑います。「アメ
リカなら、食後すぐに仕
事を始めます」。

しかし、こういったこ
とも時間とともに気にな
らなくなっていきました。
そして、1991年にラ
ジオ局 ICRRT に入社。
放送業界でのキャリアを
スタートしました。

交通リポーターの 緻密な観察

ラジオ局での仕事は、
英語と流暢な中国語のバ
イリンガルで交通情報を
伝えるキャスター業務を
担当。「キャプテン・テ
ィム」という可愛らしい

ニックネームが付きまし
た。当時の台北の交通事
情について、彼は率直に
こう話します。「本当に
ひどかった。時には、信
じられないくらい長時間
の渋滞に巻き込まれるこ
ともありました」。

台北の交通事情は現在
と比べて最悪で、MRT
が開業してからは、はる
かに良くなったと彼は言
います。

とはいえ、ひどい渋滞
を事前に予測できたこと
は彼にとつて良いことで
した。最新情報が間に合
わないときは、警察署や
交通課に電話をかけた
り、他のラジオ局の放送を聴
いたり、時には自分の持
っている情報だけを頼り
にしていたこともあった
そうです。「結局、いつ
も渋滞しているところは
渋滞しています。思った
ことを言っているだけで
すが、結局はそれが当た
るんです」。

Google もなく、携帯電
話さえもない時代だった
ので、待ち合わせの場所
と時間を決めたら、お互
いがそれを守るよう祈る
しかありませんでした。
「1時間ぐらいの遅刻はマ
シだった時代です」と彼
は振り返ります。

変化するメディア エコロジーへの取 り組み

ベルジ氏は若い頃、「あ
なたのこと知っています
よ」と、よく話しかけら
れたそうです。当時は、
メディアの種類はそれほ
ど多くなく、洋楽を聴き
たければ ICRRT しかな
い時代だったので、ベル
ジ氏の声は有名でした。

現在では、ラジオ局の
数や他のメディアも格段
に増えたため、ICRT
には昔ほどの影響力はあ
りません。ベルジ氏は学
校での講演活動にも勤し
んでいます。聴衆であ
る大学生はラジオさえほ
ぼ知らないと言います。
ラジオを聴く学生が全く
いないわけではないです
が、自らラジオを聴いて
楽しむよりは、親の車
の中などで受動的に聴い
ていることがほとんどで
す。ベルジ氏は「ラジオ
リスナーには2つの傾向



04

04. 放送局でラジオ番組を制作するだけでなく、ベルジは iCRT Battle of the Bands のような音楽イベントを開催し、勝者の音楽を局で放送するなど、スタジオの外での仕事も展開しています。(写真/ティム・ベルジ)

があると思います」と指摘します。「まず、リスナー自体が少なくなっていること、そしてリスナーがどんどん高齢化していることです」。

このような状況の中で、放送局とそのコンテンツの露出をいかに増やすかが、ベルジ氏の課題となりました。彼が指揮を執りました。彼が新しいメディアのトレンドに従って変貌

を遂げています。iCRT は現在、局のコンテンツをアプリ、Podcast、さらには Facebook や Instagram などの SNS といった他メディアへの拡張に注力しています。

「クロスプラットフォーム、クロスプロモーション、クロスメディアです」とベルジ氏は話します。番組をひとつのメディアではなく、音声コンテンツとしてとらえ、あらゆるメディア領域に拡散・流通させていくべきだと彼は考えます。だからこそ、単に番組を収録するだけではなく、他のメディアでコンテンツを宣伝する方法を模索したり、スタジオの外でライブイベントを開催したりしているのです。このような傾向を前に「テクノロジーは私たちを豊かにするためにあるわけではないと感じることがあります。むしろ、人々がテクノロジーに奉仕しているよう

にさえ思えます。それはとても恐ろしいことです」とベルジ氏は話します。

言語と文化の架け橋となる

ベルジ氏は、自身がパーソナリティを務める「English-speaking station」を通じて、リスナーが世界と繋がるきっかけになると考えています。彼は英語のラジオを聞くことは、英語力の向上に非常に役立つと主張します。「ラジオで話される言葉は、実生活でも有用です」と彼は言います。映画やテレビ番組などの他メディアと比べ、ラジオで議論される問題はより実生活と密接に関係しており、ラジオから聞こえてくる言葉は、日常のほとんどの場面に応用できる一般的なものです。

そして、ベルジ氏のチームは、台湾ならではの切り口でコンテンツを作成し、あえて台湾人に関



05. ベルジ氏は北投の環境が好きなのでここに台北暮らしを楽しんでいます。(写真 / Yi Wen Tsao)

05

連する内容を選んでいきます。それによって、リスナーの生活に密着した番組となり、ひいては台湾のリスナーが台湾の問題を英語で語れるようになるのです。

台北で送る平凡かつ健康的な生活

台北で初めて仕事をした日、陽明山と北投の緑がベルジ氏の心を捉えました。それからというもの、勤務する放送局が移

転しても、彼はずっとこの地域に住み続けています。「北投は山が近くて、環境も美しく、とても気に入っています。空気が澄み切っていて、鳥のさえずりが優しく響き、毎朝、緑に囲まれて目覚めることができます。心を落ち着かせてくれる環境なんです」とベルジ氏は話します。

台北の食については、街中に点在する小さな食堂

がお気に入りです。何年も通うほど思い入れのあるお店もあるそうです。「牛肉麵が食べたくなったら、中正区の桃源街や大安区の永康街に行きます。おいしい牛肉麵が食べられるんですよ。中正区の龍門客棧の餃子もいいですね」。また、近年は老舗飲食店の閉店も続き、寂しさも感じているようです。「台湾にはおいしいものがたくさんあるので、馴染みの店がなくなる度に残念に思います」。

彼は日常的な台北での一日について笑顔で話してくれました。「私の日常はそんな面白いものではありませんよ。毎日同じことをやっています」。毎朝、コーヒーを飲んで新聞を読み、1時間ほどジョギングやエクササイズをしてからラジオ局に出社。退屈なルーティンに見えますが、この健康的なライフスタイルが、彼のエネルギーが、彼のエネルギッシュで若々しい表情に表れています。60歳を超えていると聞

き、驚いたインタビュアーの顔を見たベルジ氏は、笑いながら、若さの秘訣を教えてくださいました。「それは運動です！」。

台北の好きなところ

様々な文化と四季折々の独特で魅力的な気候こそが、彼がこの台北に住み続ける理由です。寒さの厳しい故郷ミネアポリスや、一年中温暖な台湾南部と比べると、台北はちょうどいいとベルジ氏は考えます。「台湾南部は暑すぎてスーツが着られません。それは耐えられない。スーツを着るのが好きなんです」。

台北で30年以上暮らし、台北の食文化を楽しんでいたベルジ氏ですが、時には自分へのご褒美として、良質な西洋料理を満喫したり、家で料理を楽しむこともあると言います。幸い、台北はどちらも難しくありません。メディアパーソナ

リティとして、映画鑑賞やその他のパフォーマンスを楽しむことも多いのですが、台北は国内外のさまざまなアートイベントが開催される都市でもあります。彼が初めて台北の地を踏んだ時と比べ、台北は国際的な都市になったと彼は実感しています。

台北が他の都市と比べてユニークな点は、親しみやすく、友好的で、どんな旅行者も歓迎する点です。「香港、ニューヨーク、ロンドンといった都市は、お金があれば住みやすいでしょうが、そうでなければ話は別です。台北のいいところは、お金持ちでなくても、ちゃんとした場所に住めることです」とベルジ氏は話します。彼は、先に述べた他の国際都市と比較しても、台湾は特に住みやすい場所であると考えています。台湾では社会階層を問わず、一定水準の生活を確保できるのです。◆



06

06. ベルジ氏が好きな台湾料理のひとつは牛肉麵です。(写真/Taiwan Scene)

TRAVEL INFO

旅のお役立ち情報

台北 MRT

営業時間：06:00～24:00

24時間お客様専用ダイヤル：(02)218-12345

切符：



IC トークン (片道切符)
NT\$20～65



MRT 1 デイパス
NT\$150



24時間バス
NT\$180



48時間バス
NT\$280



72時間バス
NT\$380

電子マネー：

チャージするだけで MRT(都市交通システム) など公共交通機関やコンビニエンスストア、特約商店での小額決済ができます。レンタサイクルの YouBike にも使えます。購入は MRT やコンビニなどの取扱店で。



EasyCard



iPASS

バス情報

乗車運賃：

大人：現金、EasyCard いずれも 1 区間ごとに 15 元

学生：現金は 1 区間ごとに 15 元、EasyCard の場合は 1 区間ごとに 12 元
(学生証の提示が必要)

身長 115cm 未満あるいは満 6 歳の小人：身分証がある場合は無料

バスの路線情報：

Taipei eBus
eбус.gov.taipei

YouBike 情報

YouBike は台北市の公共レンタサイクルで、EasyCard やクレジットカードでレンタルが可能です。利用料金は 30 分ごとに発生し、レンタル時間の長さによって変動します。詳細は以下を参照してください。



YouBike のレンタル会員になりたい方は、こちらのページよりご登録ください：youbike.com.tw/region/taipei/register/

北北基おもしろカード

12の素敵な観光地+交通機関乗り放題の「無限周遊カード」、交通機関乗り放題の「観光スポット周遊カード」、「交通周遊カード」の3種類。有効期限内に台北市と新北市、基隆市を思う存分遊ぶことができます。



無限周遊カード
有効期間は
1日/2日/3日券
NT\$1,500/1,900/2,200元



観光スポット周遊カード
2日/3日/4日券
NT\$650/850/1,050元



交通周遊カード
有効期間は
1日/2日/3日/5日/
猫空ロープウェー1日券
NT\$180/310/440/700/350元

旅のインフォメーション

交通部観光局24時間対応、無料の旅行情報ホットライン：0800-011-765

外国人在台生活相談：1990

台北市民ホットライン：1999 (市外 02-2720-8889)

台北トラベルネット：travel.taipei/ja

(中、英、日、韓、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語による市内観光情報)



台北市ダブルデック観光バス
TEL: (02)8791-6557 EXT. 30

2025

台北市と新北市で
開催されるワールドマスターズゲームズ

世界へ挑む



30歳以上なら
誰でも
エントリーできます

2024年2月から
エントリー開始

2025
5.17 - 5.30



SPORTS beyond AGE!
LIFE without LIMITS!
運動無界 | 人生無限



広告

undiscovered
taipei

你所未見的台北



TAIPEI
FLORAL
タイペイお花見
FESTIVAL

📍 台北パフォーミングアートセンター

📍 大安森林公園



公式サイト

広告

主催:



觀光傳播局
Department of Information and Tourism